

会 議 録

会議の名称		令和8年度第1回つくば市スポーツ推進審議会		
開催日時		令和8年(2026年)6月1日 開会15時 閉会16時08分		
開催場所		つくば市役所 会議室201		
事務局(担当課)		市民部スポーツ振興課		
出席者	委員	高木 英樹 委員(会長)、中島 幸則 委員、渡邊 聡 委員、朝日 省一 委員、佐藤 正子 委員、中根 瞳 委員、本多 静子 委員、あさの えくこ 委員、伊藤 智治 委員		
	事務局	市民部：武笠次長(兼スポーツ施設課長) スポーツ振興課：沼尻課長、山本課長補佐、原係長、山下係長、田山主査、奥澤主任		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 第2次つくば市スポーツ推進計画における令和7年度実績評価について		
会議録署名人			確定年月日	
会 議 次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 事務局説明 第2次つくば市スポーツ推進計画における実績評価の流れ 4 議事 第2次つくば市スポーツ推進計画における令和7年度実績評価について			

5 閉 会

<審議内容>

1. 開会

○事務局：定刻となりましたので令和8年度第1回つくば市スポーツ推進審議会を開会いたします。

本審議会は、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例に基づきまして、原則公開となっております。傍聴を希望される方がいらした場合には、入室を許可しますので、あらかじめご承知おきください。

また、会議録の作成のため、マイクの音声を録音しております。ご発言の際には、お近くのマイクをご利用くださいますようお願いいたします。

なお、人事異動等に伴いまして、2名の委員が新たに就任されております。お手元の資料、参考資料2として名簿をご用意いたしましたのでご覧いただけたらと思います。名簿順に、つくば市中学校体育連盟会長として並木中学校校長の渡邊聡委員、そして市民部長として伊藤智治委員がご就任されております。お二方の人事発令通知書につきましては、あらかじめ机上に配付させていただきましたのでご確認ください。

2. 会長あいさつ

○事務局：それでは開会にあたりまして、スポーツ推進審議会高木会長よりご挨拶をお願いいたします。

<高木会長ご挨拶>

○事務局：ありがとうございました。

3. 事務局説明

○事務局：議事に入ります前に、スポーツ推進計画における実績評価の流れについて事務局からご説明いたします。

<説明資料により事務局から説明>

○事務局：この説明内容について、ご質問やご意見はございますか。

<質問・意見なし>

4. 議事

○事務局：それでは議事に移りたいと思います。

議事進行につきましては、つくば市スポーツ推進審議会条例第6条第2項に基づき、会長が議長を務めます。高木会長、よろしくお願いいたします。

○高木会長：それでは、本日の会議の成立を確認するために、委員の出席状況について報告いたします。

本日のつくば市スポーツ審議会は、委員数12名のところ9名の出席となっております。出席委員数が半数に達しておりますので、つくば市スポーツ推進審議会条例第6条第3項の規定により、会議が成立することをご報告いたします。

5. 議事

○高木会長：それでは、ここからは本日の議事となります。

第2次つくば市スポーツ推進計画における令和7年度実績評価について、事務局からご説明をお願いしたいのですが、お手元にありますよう

に非常に資料が膨大ですので、3つの基本戦略に分割して進めたいと思います。

それでは、まず基本戦略1「スポーツ機会の創出」について、事務局からご説明をお願いします。

<議事資料(2~19ページ)により事務局から説明>

○高木会長：事務局、どうもありがとうございました。

事前にお目通しいただいて気になった箇所や、総合的に判断した評価と個別評価の整合性、あるいは、ご自身が特に気になった事業について質問等があればお願いします。

それでは、事前に質問をいただいているようですので、事務局からお願いします。

○事務局：本日、当日配付資料として机上に配付しましたとおり、いくつか質問をいただいておりますが、質問の到着を事務局が確認できたのが今朝だったもので、本来であれば各部署の担当者を同席させてご回答差し上げたかったのですが、8つのご質問のうち1番から7番までにつきましては、後日、各担当から書面にて回答させたいと思っておりますので、ご了承いただければと存じます。

その上で、8番の質問について、担当課としてお答えいたします。

質問内容については、8ページの22番「障害者スポーツイベントの実施」についての質問です。障害者スポーツイベントの参加者が目標を上回っているにも関わらず今年度の目標が変わらない理由ですが、この事業に限らずですが、事業をより良いものにしていく点において、目標値を上方修正することは非常に望ましいことだと考えていますが、その一方で、イレギュラーなものとして実績値が上振れするような場合もあるかと考えら

れます。ですので、複数年度の推移を見ながら個別に上方修正するか否かを検討する必要があると考えています。今回は令和6年度と令和7年度の2か年の実績で判断することとなりますが、次回ですと令和6年度から令和8年度までの3か年の実績値となりますので、実績値の推移を踏まえながら、当課の所管する事業に限らず、各担当部署の判断において上方修正を検討するよう、担当部署に投げかけていく予定としています。

○高木会長：ありがとうございました。

では、私から質問いたします。

7ページの「交流や生きがいづくりに繋がるスポーツ活動」のところ、去年より評価が下がっており、「高齢者の地域スポーツ活動に関わる実績値が低下傾向にある」と記載がありますが、もし分析が進んでいたらお願いいたします。

○事務局：一般論として、実績値が下がった状況に対しては、担当部署において事業改善を検討するものと思われれます。お答えになっているかはわかりませんが、社会構造の変化までを大局的に分析しているかということ、事務局としては分析できていないという認識です。

○高木会長：一般論として、我々は様々なカテゴリーに対し、少しでも参加率や継続率を上げようとしています。このように維持も難しく低下傾向にあるものを上げるというのはなかなか難しいと思いますが、担当課に対して少しでも有効な分析を進めていただくよう提案いただければと思います。

議事を進行させていただきます。

次に、基本戦略2の「スポーツ推進体制の強化」について、引き続き事務局から説明をお願いします。

<議事資料(20~27ページ)により事務局から説明>

○高木会長：ありがとうございました。連携のところで筑波大学を出していただいているので、コメントさせていただいてよろしいでしょうか。自分たちの宣伝みたいになってしまっていてあれなのですが、筑波大学としてはできる限り市民の方々に大学の活動に興味を持っていただき、学内に来ていただいて、筑波大学の活動をもっと知っていただくとともに、スポーツの振興という文脈で機会を提供して、一緒につくば市のスポーツを作っていくことを考えています。

その1つの仕掛けとして、現在、「スポーツコンプレックスフットウモロー」という、複合的なスポーツ施設を建設中です。今年中に完成しまして、来年の冒頭には使えるようになります。老若男女、障害を有する方や健常者の方を問わず、市民の方々にもご活用いただくように考えていますので、是非、委員の皆様には、活用方法についてご意見をいただけるとありがたいです。

○中島委員：今、筑波大学さんのお話が出ましたので、筑波技術大学の教員として一言だけ発言させていただきます。

本学でも月に1回、スポーツ教室を行っていますし、年1回、障害者スポーツイベントなども行っており、障害者スポーツに関わることは本学でもできますので、こちらに事業として載せていただくと嬉しく思います。筑波大学さんみたいな大きな大学ではないですが、障害者のための大学として、市内で障害者のためにやっていることがありますので、ご承知おきいただければ嬉しく思います。

○事務局：筑波技術大学との連携について、こちらの事業として記載がない点については、非常にもどかしく感じています。前回の会議でご説明しましたが、今後、我々がどのようにスポーツ振興に資する施策を打ち出すかについては、様々なステークホルダーを巻き込むことが重要だと考えています。例えば、筑波大学であれば、学生にレベルの高いトップアスリートが

揃っていますので、地域の学校に派遣して子供たちに夢と希望を与え、筑波大学と児童生徒との距離感が近くなるといったように、1つの方向性として、筑波大学に限らず広い意味で大学との連携があります。

筑波技術大学におきましては、昨年、デフリンピックの結果報告として市長に表敬訪問いただいた際に、選手の方々がとても生き生きとされていた記憶がございます。デフという障害を抱えながらどのように練習してきたかといった背景を知ることで、スポーツ競技を教えるプラスアルファの効果があると考えており、筑波技術大学の生徒を学生アスリートとして学校等へ派遣するといったことも視野に入れております。事業化に向けては、まだブラッシュアップできてない部分があり具体的にご相談できていないのですが、その際には是非とも前向きにご検討いただきたいと思いますと考えています。

○高木会長：それでは次に移りたいと思います。

基本戦略3「スポーツ環境の整備・充実」について、事務局から説明をお願いします。

<議事資料(28~40 ページ)により事務局から説明>

○高木会長：ありがとうございました。

委員の皆様、特にご異議ないとまとめさせていただきたいと思いますが、今回の評価結果にかかわらず、つくば市のスポーツ振興について、あるいはご自身の身近なところでご意見いただきたく思います。

渡邊委員、学校スポーツについても、いくつかの事業が展開されておりますが、ご意見等ございましたらお願いします。

○渡邊委員：学校体育コーディネート事業について、2事業の対応が同じではないかというご質問がありますが、おそらく、体育授業そのものへのアプ

ローチと、体育授業に興味を持たせようとするアプローチの2つを別々にしているのだと思います。小学校ですと全教科を教えなくてはならないので、体育の専門ではない教員に対して、もう少し体育を楽しむように、子供たちに還元できるようにという目的の事業なのですが、周知というところで、校長会などの機会でもアプローチしていきたいと思っています。別な方たちでも、体育に興味を持たせるための指導者といった案内はありますので、何かの機会に捉えていければと思っています。

また、本日は中体連の会長として出席しておりますが、中体連へは日頃からいろいろとサポートいただき本当にありがたく思っています。

○高木会長：ありがとうございました。では、あさの委員いかがですか。

○あさの委員：部活動の地域展開ですが、「やったことのない競技をいきなり担当させられて大変な思いをした。」という、先生からの声も多く聞いているところです。そういうことを受け、いわゆる部活動の地域展開が始まったわけですけれども、言い方は悪いのですが、学校によってまちまちで指針が定まらないところがあると思います。原因として私なりに考えたのは、これは学校だけで考えていても解決しないのではないかとということです。プロになる人は一部ですから、生涯にわたってスポーツに親しむ、楽しむ、そのきっかけが子供の頃のスポーツであると考えたときに、もう少し多様な協議の場が必要なのではないかと問題意識を提示させていただきました。ですので、教育局で一生懸命やってはいらっしゃいますが、やはり、スポーツ振興課や大学と話し合うとか、パラスポーツもそうです。

どうしても日本のスポーツは「1つにかけるぞ。」みたいなところがあり、他の国では「小さいうちは何でもやってみようよ。」というところが多く多いです。地域スポーツが盛んな国は、地域クラブというものはいっぱいあって子供が選べる状況なのですが、日本の場合はなかなか子供が

選べないです。

私は吾妻中学校の校区ですけれども、野球部はもう成立しないということもあり、隣の学校と一緒になくなってしまっています。そうしますと、練習時間が限られている中ですので、ウォーミングアップをして終わりになってしまうというところもあります。中学校や高校におけるスポーツについて、もう少し広い視点で考える機会がどこかにあったほうが良いのではないかと思います、いろいろ書かせていただきました。

○高木会長：ご意見ありがとうございました。事務局、いかがですか。

○事務局：例えば、スポーツの推進に係る事項であれば、法令上、本審議会で審議することは可能という建付けになっています。特に決まった手続きはございませんが、例えば、審議したい事項を事務局にご提案いただき、その上で会長と相談しながら、この審議会を部活動の地域展開に係る議論の場にすることも制度上は可能となっています。

○高木会長：ありがとうございました。佐藤委員、いかがでしょうか。

○佐藤委員：主人が2年連続つくばマラソンに出場しており、持ちタイムが4時間50分くらいなので後半に走るのですが、そうすると、給水のときに並ぶらしいです。おそらく遅い人ほど給水も下手だからではと思うのですが、本人は給水待ちでずっと足踏みをしていたらしく「タイムロスした。」と言っております。また、遅いタイムの人が「シュークリームがなかった。」と言っていたらしく、やはり全てを平等にすることはできないのですが、どうしても持ちタイムが遅い人は後半に走るの、少しずつでも持ちタイムが遅い人でもプラスアルファで楽しみがあると嬉しいということを、前回出席して主人に話したら「ちょっと恥ずかしいけど話してきてくれないか。」と言われまして。よろしくお願いします。

○高木会長：ご意見ありがとうございました。中根委員、いかがでしょうか。

○中根委員：流星台スケートボードパークについてですが、何年か前に、スケ

ポーを始めた人と一緒に行ったことがあります。このパークはすごく楽しかったという話で、私は見ているだけでしたが、待機する場所がバス停にあるベンチのような椅子が置いてあるぐらいでした。滑らない人の待機場所があまりないというのと、行ったのが冬だったので、当たり前ですが寒くてお腹の調子も悪くなってしまいました。そうになると、お手洗いは周辺の施設を使ってくださいということで、テニス場の方へと案内されたのですが、すごく遠くてもう駄目だと思い桜保健センターをお借りしました。

親がお子さんを連れてきて滑らせることもあると思うので、保護者が待機しやすくなるよう、風がよけられるようなベンチがあったり、温かいものが飲めるような自販機のようなものがあったりすれば、滑らない人も居やすくなると思いました。

○高木会長：ご意見ありがとうございました。本多委員、いかがでしょうか。

○本多委員：こんなにたくさんのことをされていて、充実した市に私は暮らしているのだと、すごいと感じながら見ておりました。

少し気になったところで、「周知を徹底する」と書かれている箇所がありました。周知ではなく申し込みのプロセスに改善の余地があったりもするのではないかと予想しております。というのも、前回の会議後にイベントのページを拝見したのですが、申し込み方法が少し煩雑だと感じました。郵送だったりファックスだったり。多くの人は、フォームでパッと答えることに慣れてきていると思いますので、そうではない方への対応もしつつ、申し込み方法の工夫もできるのかと思いますので、このあたり何かあれば教えてください。

○高木会長：事務局、まとめて答えられる範囲でお願いします。

○事務局：事務局として答えられる部分としまして、先ほどの本多委員からの質問につきましては、周知なのか手続き方法の簡素化なのかという観点は重要な視点だと考えております。

各部署が所管する様々な事業がございますので、一律に周知または簡素化という極論にはならず、それぞれの事業に適した方策があると考えております。スポーツ振興課としましては、大勢の方々にまずは1回でもスポーツをやっていただきたいという意識がありますので、もちろん周知もしますが、手続きに関してはできる限り簡素なやり方をとっているところで

す。

どの層にリーチさせたいかにもよりますが、例えば、手続きに電子化を取り入れたり、参加費を無料としている事業もございます。また、参加費をいただくにしても、最初に支払っていただく場合は、参加への障壁は上がります。事前に金銭的なやり取りができるのは良いのですが、参加する側からしますと、行けるか行けないかはわからないけれども、とりあえずエントリーして、当日の気分で参加不参加を判断できることが一番良いと思っております。しかし一方で、主催者からすると実際に何人参加するか予見できないということになりますので、結局はこのバランスなのではと考えております。

いずれにしても、スポーツに関しては参加する障壁をできる限り低くしようと模索しております。参加費を必ず事前に徴収しないといけない手続きや、行政によくある決定通知、「あなたはこのスポーツ教室に参加する権利があります」といった通知のような仰々しいことはできる限り廃し、スポーツを楽しめる人が楽しんでできれば良いという視点で進めているところです。

○高木会長：朝日委員、いかがでしょうか。

○朝日委員：プールの利用に関しては、車いすユーザーとしても使いやすいという部分はあるのですが、1点感じたところがあります。

当日はスポーツ施設課の方にもお伝えしたのですが、全国的に「みんなのトイレ」という表記がすごく増えてきております。そういうトイレです

と色々な方が利用しますので、私たち障害者が利用できない状況が出ており、実際に私も色々な所でトイレを待っていますと、出てくる方は健常の方が多いのです。そういう部分で、この表記はどうかという疑問を障害者の仲間が抱えていることもあり、今後、行政の方には考えていただけたらと思っております。

また、市内の全ての施設はまだ回れていないのですが、今後、見学させていただき、障害者のための提案をさせていただきたいと思っております。

○高木会長：利用者目線の指摘というのは非常に重要だと思いますので、貴重なご意見ありがとうございました。

最後に、伊藤委員お願いします。

○伊藤委員：委員という立場と市という立場で、なかなか発言しづらいところもございますが、まずは、皆様に色々な視点から市のスポーツ環境やスポーツ施設について、ご意見いただきありがとうございます。

委員の皆様が思っいらっしゃることはごもっともであると思いきし、市もできるだけ優先順位を付け、できるものは取り入れるようにしています。その1つとしては、ご存じかとは思いますが体育館の空調です。

近年は相当の暑さで、スポーツを体育館でしたくてもできない状況がございますので我々としても優先順位は高く、小中学校の体育館もですが、市立の体育館へも計画的に、ここ数年の間に空調設備を整えようとしております。それによって、酷暑のときでも快適な環境でスポーツができるよう進めていければと思います。

また、あさの委員からもございました部活動の地域展開につきましては、全国的な課題でもありますし、つくば市は進んでいるというお話は全国からいただいているのですが、まだまだ大変なところもあると思っております。今年度にかたちにできるよう教育局が調整していると思っておりますが、こ

これは私見ですが、やはり地区によって実情が違い、展開が進んでいるところもあれば進みづらいところもあると思います。各学校にはコミュニティスクールがあるかと思いますが、コミュニティスクールには保護者や地域の人も入っていますし、当然先生や子供たちも入っているので、この部活動の地域展開を1つテーマにして、その地区にあったスポーツを議論する場になり得ると思っています。

さらに、スポーツ協会は大きな母体になっていますので、我々も力を入れてやっていかねばならないと思っています。いずれにしましても、スポーツ環境だけでも様々な課題がございますけれども、できる限り良い環境を市民に提供できるよう頑張っておりますので、引き続きのご指導のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

○高木会長：ありがとうございました。

皆様のご協力を得まして、本日の議題は終了させていただこうと思ひます。次回等もご協利いただきますようよろしくお願ひいたします。

私からは以上でございますので、進行は事務局にお願ひいたします。

6. 閉会

○事務局：高木会長、議事進行ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして令和8年度第1回つくば市スポーツ推進審議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

以上

令和8年度第1回つくば市スポーツ推進審議会次第

日時：令和8年6月1日(月) 午後3時から

場所：つくば市役所 201会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 事務局説明

第2次つくば市スポーツ推進計画における実績評価の流れ

4 議 事

第2次つくば市スポーツ推進計画における令和7年度実績評価について

5 閉 会

【配付資料】

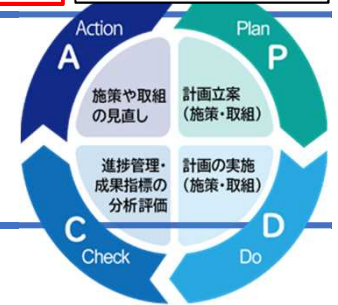
- ・ 次第（本紙）
- ・ 説明資料 第2次つくば市スポーツ推進計画における実績評価の流れ
（令和7年度第1回資料：令和7年7月22日開催）
- ・ 議事資料 第2次つくば市スポーツ推進計画 令和7年度実績評価シート
- ・ 参考資料1 つくば市スポーツ審議会条例
- ・ 参考資料2 つくば市スポーツ推進審議会 委員名簿

第2次つくば市スポーツ推進計画における実績評価の流れ

令和7年度第1回つくば市スポーツ推進審議会（令和7年7月22日開催）における資料

説明資料

- ◎ 本計画に紐づく各事業の実施においては、**年度ごとにPDCAサイクルを回す**ことで実効性を確保することとしている。
- ◎ PDCAサイクルのうち実績評価(Check)については、**スポーツ推進審議会における審議**を経ることによって、有識者や市民といった**第三者の多様な視点**を踏まえた上で、各事業の改善を促す。



【実績評価の主目的】

担当部署

各部署において事業の成果・効果を検証した上で**自己評価を実施**

各事業ごとの評価

事務局（スポーツ振興課）

自己評価された各事業を「**施策の内容**」ごとに**束ね**、改めて評価・分析を実施

「実績評価シート」単位

各事業が掲げる指標の達成度のみを単純評価するのではなく、全体を俯瞰し評価・分析し「**実績評価シート**」にまとめる。

スポーツ推進審議会

審議によって**実績評価をブラッシュアップ**し、各部署へフィードバック

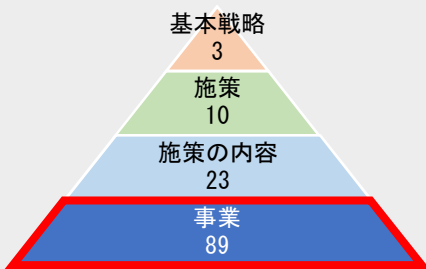
「**実績評価シート**」を用い、

- ・ 評価結果や分析結果の適切さ
- ・ 各事業への個別の指摘等の妥当性

といった事項を審議いただく。

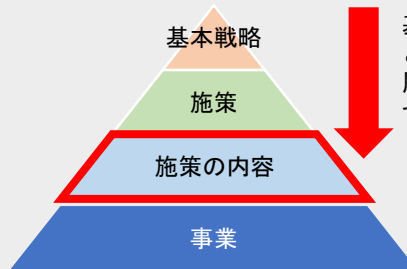
担当部署へフィードバックし事業改善を促す

89事業を自己評価



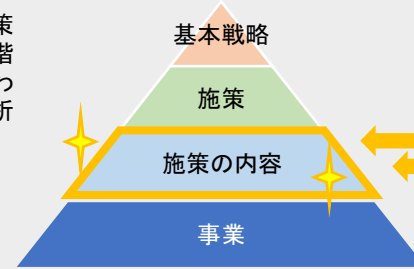
体系イメージ図（数字は各項目数）

23項目を実績評価



基本戦略や施策といった上位階層と照らし合わせて評価・分析

23項目をブラッシュアップ



有識者や市民の視点でブラッシュアップ

第2次つくば市スポーツ推進計画における実績評価の流れ

説明資料

- 「実績評価シート」の大まかな構成は、各事業の担当部署による**自己評価**が列挙され、最下部に総括した**実績評価**となっている。

自己評価の各項目

どのような活動を実施したかについて、場所・日時・数値などの情報を用い、できる限り具体的に記載しています。

活動実績

どのような成果や効果をもたらされたかについて、場所・日時・数値などの情報を用い、できる限り具体的に記載しています。

成果・効果

各担当が把握している課題感や、その課題の解決に向けた令和7年度以降の方向性が定まっている場合は記載しています。

課題・今後の取組

事業番号 (旧番号)	事業名 担当課	R6事業目的及び概要	R6活動実績	R6事業費(歳出) 単位:千円		指標			R6成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6				R7
47	スポーツ推進委員協議会の組織及び研修	【事業目的】 スポーツ推進委員の活動の促進と資質の向上を図り、地域スポーツ活動の指導者として市民のスポーツ活動の活性化に貢献するため。	63名のスポーツ推進委員との連携の下、地域におけるスポーツの振興を図るとともに、本市のスポーツ事業への協力や研修会への出席等によって各委員の資質向上を図った。	13	13	目標値		28	29	市の研修会のみならず、県や県の研修会も含め延べ83名が受講した。また、各種研修会で得た知見を発揮する場として、つくばマラソンを始めとした本市のスポーツ事業に対し延べ143名に協力いただいた。	若男女の多様な市民がスポーツを楽しむ実情と同様に、スポーツ推進委員における性別や年齢といった諸要素においても、多様性を担保するための方策を検討していく。	A
(63)	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツ推進委員を任命し、スポーツ推進委員協議会を組織し、研修をとおしてスポーツの指導者や障害者スポーツの知識を学び、市や地域のスポーツ事業や地域のスポーツボランティア活動に生かす。		13	13	実績値	27	20			研修会の参加者は目標値を下回ったものの、本研修会をきっかけに、障害者を対象とした体験講座への協力につながることができたため、評価を上げた。	

決算額

予算額に対応した決算（見込み）額を記載することで、事業規模や執行割合が把握できるようにしています。

※ 事業費が明確にできないものは未記載

実績値

事業ごとに評価基準となる指標を設定しており、基本的には目標値に対する達成度で評価します。

担当評価・評価理由

下表の基準で評価していますが、特段の理由で評価を上下させる場合は理由を記載しています。

※ 評価基準どおりの場合は未記載

担当評価	評価基準
S	順調に進んでいる（指標の達成度が100%以上である）
A	概ね順調に進んでいる（指標の達成度が80%以上100%未満である）
B	やや遅れている、改善事項がある （指標の達成度が60%以上80%未満である）
C	遅れている、大幅な改善事項がある （指標の達成度が60%未満である）

- ・「実績評価シート」の大まかな構成は、各事業の担当部署による**自己評価**が列挙され、最下部に総括した**実績評価**となっている。

実績評価の各項目

評価に至った分析結果を端的に記載しています。

評価結果の分析等

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策1(1)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。 ・ 過半数の事業が順調と評価されている一方で、体育授業の充実や児童・生徒の体力向上といった取組においては更なる充実の余地があると考えられる。</p> <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業2 → 希望制ではあったものの達成度は半数を下回ったことから、今後は制度の周知を進めつつも、本事業が単なる体力向上にとどまらずスポーツを親しむ動機づけとなるよう創意工夫していただきたい。 ・ 事業4 → 今後の取組に記載されているように、本事業を積極的に周知することで、充実した体育授業が各学校で展開される体制を構築いただきたい。 ・ 事業8 → 体育授業に係る知見を有する大学等との連携は大切であり、専門家からの助言を十分に活用いただきたい。

評価結果
 全ての事業を俯瞰し、望ましい方向性と照らし合わせて総合的に評価しています。

各事業への個別の指摘等
 評価の良否に関わらず、各事業における固有の課題や社会情勢などを踏まえた指摘等を記載しています。
 ※ 一部の事業に対して記載

本審議会においては、

- ◎ 評価結果や分析結果が適当であるか（評価を上下させる必要はないか）
- ◎ 各事業への個別の指摘等が妥当であるか（新たに指摘することはないか） など

を御審議いただき、「実績評価シート」をブラッシュアップした上で各部署へフィードバックします。

第2次つくば市スポーツ推進計画 令和7年度実績評価シート

令和8年6月1日
第1回つくば市スポーツ推進審議会



第2次つくば市スポーツ推進計画 令和7年度実績評価(一覧)

※矢印1つで1段階を表現

基本戦略	施策	施策の内容	評価結果 (R6比較)	ページ
1 スポーツ機会の創出	施策1 子どものスポーツ活動の促進	(1) 学校教育を通じたスポーツ活動	A	2~3
		(2) 地域と連携したスポーツ活動	A	4~5
	施策2 高齢者のスポーツ活動の促進	(3) 健康づくりに役立つスポーツ活動	B	6
		(4) 交流や生きがいづくりにつながるスポーツ活動	B ↓	7
	施策3 障害者のスポーツ活動の促進	(5) スポーツ環境の向上と認知度向上	A	8~9
		(6) スポーツ活動を支える仕組みづくり	A	10
	施策4 成人のスポーツ活動の促進	(7) 気軽に取り組めるスポーツ活動	B	11
		(8) 仲間づくりや地域活動につながるスポーツ活動	A ↑	12~13
	施策5 スポーツをする機会の提供	(9) すべての市民に向けた運動・スポーツをする機会の提供	B	14~15
		(10) スポーツ情報にふれる機会の拡充	S	16~17
		(11) つくばらしいスポーツ文化の創出	S ↑	18~19
2 スポーツ推進体制の強化	施策6 スポーツ団体・組織の基盤強化及び指導者等の育成	(1) スポーツ団体・組織の支援	S ↑	20~21
		(2) 指導者の養成と地域リーダーの育成	A	22~23
	施策7 多様な主体との連携・協働	(3) 多様な主体との連携	A	24~25
		(4) 諮問機関における調査・審議	A	26
		(5) 多様な連携を通じた啓発活動	A	27
3 スポーツ環境の整備・充実	施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理	(1) 整備及び維持管理	B ↓	28~31
		(2) バリアフリー化の推進	B	32
		(3) 利便性の向上	S ↑	33
	施策9 スポーツ環境の整備	(4) 地域特性をいかしたスポーツ環境の充実	S	34~35
		(5) スポーツツーリズムの推進	A ↑	36~37
	施策10 スポーツ活動における安全の確保	(6) スポーツ活動における安全教育の推進	A	38
		(7) スポーツ事故・障害の予防等に係る啓発	A ↑	39~40

施策1 子どものスポーツ活動の促進【推進計画P43】

(1) 学校教育を通じたスポーツ活動

①	子どものスポーツ活動が豊かなものとなるよう、学校体育の授業などを通して児童生徒の体力と運動能力向上に努め、健康な体づくりや競技スポーツへの取組支援を行うとともに、「スポーツが好きな子ども」の育成や、将来夢をもつことの大切さ、スポーツに親しむことの動機づけにつなげるための取組を行い、子どもの成長などに合わせたスポーツ活動を促進します。	成果指標				R4(最新値)	R15(目標値)	
		指標1	児童生徒の週3回以上のスポーツ実施率				小5：44.4% 中2：65.9% 高2：53.4%	小5：54% 中2：75% 高2：63%
		指標2	卒業後にも運動やスポーツをしたいと思う児童の割合				小5：66.0% 中2：68.4% 高2：68.1%	小5：80% 中2：80% 高2：80%

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
1	全国大会・関東大会出場補助事業	【事業目的】 全国大会及び関東大会へ出場する児童生徒の練習意欲の向上並びに児童生徒の保護者の費用負担の軽減を図るため。	37件の事業に対して、合計2,633千円の補助金を交付することで支援した。令和7年度から、学校に加えて地域クラブからも補助金の交付申請をできるように、交付要綱を見直し。あわせて、補助金をより活用しやすくするため、従来は大会前の申請が必要であった手続きについて、大会後の申請が可能となるよう見直しを行った。	6,480	2,633	補助金交付対象者数(件)	目標値	41	41	41	補助金の交付によって、全国大会及び関東大会へ出場する児童生徒の保護者の費用負担の軽減を図ることができた。	中学校では部活動の地域展開が進んでおり、将来を見据えた補助金の在り方を検討する必要がある。	A
	教育総務課	【事業概要】 全国及び関東各種スポーツ大会に出場する児童・生徒に対して補助・支援を行う。				実績値	41	76	37				
2	児童・生徒の体力の向上	【事業目的】 児童・生徒の体力の向上のため。	市内の小学校より9校(小学校7校、中学校2校)校の参加があった。希望制で挑戦し、記録を専用ホームページに登録した。	0	0	スポーツチャレンジ参加校(校)	目標値	15	15	15	希望制であり、9校が参加した。児童生徒の運動への関心や体力の向上につながったと考えられる。	器械運動や陸上運動等のより専門的な技能を必要とする単元で活用できるよう、文書発出時に積極的な活用を促すよう周知し、より多くの児童・生徒がサポートを受けられる体制を構築する。	B
	学び推進課	【事業概要】 各学校で児童・生徒の体力向上のための取組を行う。また、茨城県の体力アップ関連事業と連携する。				実績値	8	7	9				
3	体力テストの実施	【事業目的】 児童生徒の健康の保持増進と体力の向上の必要性について、理解を深めるとともに、体育の指導の改善とその充実に資するため。	市内全ての学校において体力テストを実施し、全児童生徒の92%に当たる21,295名が全ての項目を実施した。集計結果を茨城県に報告するとともに、各学校に分析結果を報告した。	3,103	3,002	体力テスト参加人数(人)	目標値	22,881	22,899	23,023	各学校において、児童生徒の運動能力の向上に向けた取り組みの参考とすることができた。	体力テストの結果に基づき、各学校で「体力アップ推進プラン」を作成し、体力・運動能力の向上に向けた取り組みを行う。	A
	健康教育課	【事業概要】 小学校及び中学校で体力テストを実施し、その結果を学校体育施策に活用する。また、子どもの体力・運動能力の向上に役立てる。				実績値	22,428	21,231	21,295				
4	体育授業への外部指導員等の派遣	【事業目的】 児童の体力向上と学校体育授業の活性化を図るため。	小学校2校(大曾根小、東小)から希望があり、サポーターによる支援により、体育授業がより充実したものになった。	0	0	県体育授業サポーター派遣(校)	目標値	4	4	4	2校に計9名の体育授業サポーターが派遣され、マット運動、陸上(走り幅跳び、小型ハードル走)、跳び箱運動、バスボール型競技(ティーボール)等の授業がより充実したものになった。	器械運動や陸上運動等のより専門的な技能を必要とする単元で活用できるよう、文書発出時に積極的な活用を促すよう積極的に周知し、より多くの児童・生徒がサポートを受けられる体制を構築する。	C
	学び推進課	【事業概要】 体育授業に外部指導員やサポーター等を派遣し、児童・生徒の体力向上や体育授業の活性化を図る。				実績値	3	2	2				
5	つくば市小学校体育連盟との連携及び事業の補助	【事業目的】 小学校児童の体力の増進及び運動能力の向上を図るため。	つくば市小学校体育連盟に対して、合計575千円の補助金を交付することで支援した。	575	575	陸上記録会出場校(校)	目標値	36	36	37	つくば市学園スポーツ交流会を開催し、小学校児童の体力の増進及び運動能力の向上に寄与した。補助金の交付により、スポーツ用品の整備が進んだ。	今後も補助金の交付により支援する。	S
	教育総務課	【事業概要】 市内の小学生を対象につくば市小学校体育連盟が陸上記録会等を開催するために、必要な経費を補助する。				実績値	35	36	36				
6	つくば市中学校体育連盟との連携及び事業の補助	【事業目的】 中学校体育の健全な普及発達を図るため	つくば市中学校体育連盟に対して、合計2,267千円の補助金を交付することで支援した。	2,287	2,267	市総合体育大会出場校(校)	目標値	18	18	18	陸上競技大会、総合体育大会、新人体育大会を開催し、つくば市中学校体育の健全な普及発達を図ることができた。補助金の交付により、スポーツ用品の整備が進んだ。	今後も補助金の交付により支援する。	S
	教育総務課	【事業概要】 市内の中学生を対象につくば市中学校体育連盟が陸上競技大会、総合体育大会、新人体育大会等を開催するために、必要な経費を補助する。				実績値	17	18	18				

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
	担当部署			予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由	
7	学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施	【事業目的】 体育・スポーツの指導充実を図るため。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内全校の教職員が参加した。	予算額	0	体育実技講習会(参加人数)	目標値	/	45	50	51	研修会が学校においてすぐに実践できる内容であったため、研修会後に体育の授業に取り入れ、質の向上を図ることができた。また、多くの学校では、研修参加者が研修の内容を校内において共有することで、教職員全体への質の向上を図ることができた。	今年度も昨年度と同様の研修が実施される予定である。体育の授業改善をとおして、児童生徒の体力や技能の向上を図る。	S
	学び推進課	【事業概要】 学校の教員のために体育・スポーツに関する指導者研修会を実施する。		決算額	0		実績値	48	50	50				
8	学校体育コーディネート事業	【事業目的】 体育、保健体育指導の充実と教員の資質の向上を図るため。	県事業の体育授業アドバイザー派遣により東小学校で活用した。	予算額	0	県体育授業アドバイザー派遣(校)	目標値	/	5	5	5	県事業の体育授業アドバイザー派遣を東小学校で活用し、体育授業の授業力向上に繋がり、子どもの運動技能の向上(体づくり運動等)につながったと考えられる。	継続して体育授業アドバイザー派遣の魅力を各学校へ周知していく必要がある。	C
	学び推進課	【事業概要】 茨城県の体育授業アドバイザー派遣事業により、大学講師等の専門家から学校の教員に対して体育・スポーツに関する助言をもらう。		決算額	0		実績値	2	3	1				
9	学校体育関連事業との連携	【事業目的】 学校教育活動全体を通して体力アップを図るため。	体力運動能力テストの結果をもとにして、各校で取り組む課題を体力アップ推進プランを活用し、目標値を決めて取り組んだ。	予算額	0	体力アップ推進プラン(校)	目標値	/	45	50	51	小学校は投げる能力の向上を図るプランを、中学校は改善を図るポイントをしぼったプラン(反復横跳び、立ち幅跳び)を実施し、運動技能の向上を図った。	引き続き取組を継続し、運動技能の向上を図る。	S
	学び推進課	【事業概要】 外部指導者派遣、児童・生徒の体力アップ推進プロジェクト、学校体育コーディネート事業等、茨城県が実施している学校体育・スポーツに関する多様な事業との連携を図る。		決算額	0		実績値	48	50	50				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策1(1)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 半数に近い事業が順調と評価されている一方、学校体育に関連する取組においては更なる充実の余地があると考えられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業1 → 部活動の地域展開を進めるに当たっては、保護者等における一定の金銭負担が新たに生じる可能性があり、その負担が過大とならないようバランスを取っていただきたい。 事業8 → 知見を有する大学等との連携は大切であり、専門家からの助言を十分に体育授業に反映させるためにも、事業の周知方法を工夫していただきたい。

施策1 子どものスポーツ活動の促進【推進計画P43】

(2) 地域と連携したスポーツ活動

②	子どものスポーツ活動を支援してきた学校部活動においては、ニーズの多様化や教員の働き方改革を見据えつつ運動時間を確保し、安心してスポーツに取り組めるよう、各学校の実情に合わせてながら、地域のスポーツクラブ、企業等、地域と連携して段階的に地域移行を推進します。	成果指標				R4(最新値)	R15(目標値)
		指標1	児童生徒の週3回以上のスポーツ実施率	小5：44.4% 中2：65.9% 高2：53.4%	小5：54% 中2：75% 高2：63%		
③	地域連携のもと、幼児期から学童期、青年期まで、スポーツの習慣化につながるよう、体を動かすことの楽しさを体験できる機会を提供するなど、子どもが安全に楽しく運動やスポーツに取り組める環境の充実に努めます。	指標2	卒業後にも運動やスポーツをしたいと思う児童の割合	小5：66.0% 中2：68.4% 高2：68.1%	小5：80% 中2：80% 高2：80%		

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
					指標名	R5	R6	R7	R8				
再掲 8	学校体育コーディネート事業	【事業目的】 体育、保健体育指導の充実と教員の資質の向上を図るため。	県事業の体育授業アドバイザー派遣により東小学校で活用した。	予算額	0	県体育授業アドバイザー派遣(校)	目標値	5	5	5	県事業の体育授業アドバイザー派遣を東小学校で活用し、体育授業の授業力向上に繋がり、子どもの運動技能の向上(体づくり運動等)につながったと考えられる。	継続して体育授業アドバイザー派遣の魅力を各学校へ周知していく必要がある。	C
	学び推進課	【事業概要】 茨城県の体育授業アドバイザー派遣事業により、大学講師等の専門家から学校の教員に対して体育・スポーツに関する助言をもらう。		決算額	0		実績値	2	3	1			
再掲 9	学校体育関連事業との連携	【事業目的】 学校教育活動全体を通して体力アップを図るため。	体力運動能力テストの結果をもとにして、各校で取り組む課題を体力アップ推進プランを活用し、目標値を決めて取り組んだ。	予算額	0	体力アップ推進プラン(校)	目標値	45	50	51	小学校は投げる能力の向上を図るプランを、中学校は改善を図るポイントをしぼったプラン(反復横跳び、立ち幅跳び)を実施し、運動技能の向上を図った。	引き続き取組を継続し、運動技能の向上を図る。	S
	学び推進課	【事業概要】 外部指導者派遣、児童・生徒の体力アップ推進プロジェクト、学校体育コーディネート事業等、茨城県が実施している学校体育・スポーツに関する多様な事業との連携を図る。		決算額	0		実績値	48	50	50			
10	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	【事業目的】 部活動用消耗品の充実、大会参加に伴う学校・会場間の生徒移動用バス賃借費用の保護者負担軽減。	各学校で必要な部活動用消耗品の購入、大会参加のための生徒移動用バスの賃借を行った。	予算額	49,982	-	目標値	-	-	-	各学校で必要とする消耗品購入、安全な生徒の移動が確保された。	大会参加者に合わせたバスの配車を行い、単価を抑えることで、保護者負担額の軽減を目指す。	-
	学務課	【事業概要】 中学校の運動部活動の用具購入費、修繕費、大会参加のためのバス賃借料などの費用を支援するなどして、運動部活動の環境の整備を図る。		決算額	48,743		実績値	-	-	-			
11	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	【事業目的】 部活動指導の支援・充実を図るため。	部活動指導員を12校、31名を29部活に配置。	予算額	11,012	部活動指導員派遣事業(人数)	目標値	25	25	25	つくば市の運動部活動指導員の配置予定人数25名のところ、31名を配置することができた。顧問教員の負担軽減につながったと考えられる。	補助金の関係上、年度末2月までの活用となっているが、市持ち出しで予算を組み、3月までの活用を目指す。	S
	学び推進課	【事業概要】 中学校の運動部活動の用具購入費、修繕費、大会参加のためのバス賃借料などの費用を支援するなどして、運動部活動の環境の整備を図る。		決算額	8,812		実績値	28	25	31			
12	放課後子ども教室の推進	【事業目的】 児童が放課後安全・安心に過ごすための多様な居場所づくりを推進するため	実施を希望する市内の小学校、義務教育学校及び交流ひろばで放課後教室を開催。スポーツに関するプログラムは、キッズダンスや縄跳び、バラスポーツなど。	予算額	10,924	実施回数(回)	目標値	618	646	665	スポーツの分野で活躍する地域人材を講師(教育活動推進員)とし、教育活動サポーターの見守りの下、児童は安全にスポーツに取り組むことができた。	スポーツ関連のプログラムを実施するには広いスペースが必要であり、学校との調整状況によっては実施が難しい場合もあるが、安全面を十分に配慮した活動を今後も行っていく。	A
	こども育成課	【事業概要】 市内の小中学生を対象に放課後子ども教室を実施し、スポーツ活動や文化活動などの体験活動や地域の住民との交流活動を行う。		決算額	9,171		実績値	557	585	642			
13	放課後児童クラブの育成・支援	【事業目的】 児童の健全育成を図るため	桜総合体育館において、児童館を利用する児童(2~4年生)を対象としたつくば市立児童館交流ドッジボール大会を令和7年11月29日に実施。15児童館15チーム、計197名の児童が参加した。	予算額	110	参加人数(人)	目標値	300	300	300	各館、5~8か月の練習を通して仲間との絆、目標に向かって努力することの大切さを学び、大会を通して多くの人との交流をすることができた。	児童の確保が難しく、参加できなかった児童館もあったことから、児童館同士の合同チームの可能性を検討する。合同チームを結成することで児童同士の交流もより深まることが期待できる。	B
	こども育成課	【事業概要】 小学校や児童館の体育・スポーツ施設を利用して、児童館利用者や放課後児童クラブ員に遊びの場を提供し、児童の健全育成を図る。また、放課後児童クラブ施設を整備する。		決算額	108		実績値	258	275	197			

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
	担当部署					指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由	
14	スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施	【事業目的】 参加者がスポーツに触れる機会を提供する。	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2025において、スポーツ体験ブースを企業、スポーツチーム、つくば市スポーツ推進委員が出展し、各スポーツのPR活動を行った。	予算額	1,366	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値	/	1,000	1,000	1,000	参加者の継続的なスポーツ活動に繋げるため、出展者に積極的なPR活動を促したことで運営も活発化した。	引き続き、出展者に各スポーツのPR活動を行ってもらい、市民の継続的なスポーツ活動につなげることで、スポーツ実施率の向上を図る。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくばスポーツフェスティバル&つくばパラにおいて、市内等で活動している団体に参加してもらい、各スポーツのPRを行う。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内1校の教職員が武道等参加した。	決算額	1,064		実績値	1,173	866	964				
15	中学校武道等指導推進	【事業目的】 中学校における武道等の指導を充実させるため。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内1校の教職員が武道等参加した。	予算額	0	武道等講習会参加人数(人)	目標値	/	8	8	8	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会に参加したことをもとに部活指導に生かした。	今年度の研修が実施される際には、中学校での武道の授業改善や部活動での安全指導を充実させるために、その意義を伝えながら活用を促していく。	C
	学び推進課	【事業概要】 中学校の武道等の指導を推進し、安全指導を徹底するために、外部指導者の派遣支援を行う。	15校867人に体験してもらった。車いすバスケ5校ポッチャ10校	決算額	0		実績値	1	1	1				
16	障害者スポーツ体験出前教室	【事業目的】 出前教室を実施することで、児童生徒や先生の障害者スポーツに関する認知度や理解を深めることを期待する。	15校867人に体験してもらった。車いすバスケ5校ポッチャ10校	予算額	1,000	参加人数(人)	目標値	/	-	800	850	多くの小学生に体験してもらい、障害者スポーツを知るきっかけを創出できた。	全校から実施の申込ができるよう周知活動を行う。また、令和8年度からは、より親しみやすい名称にするため「バラスポーツ体験出前教室」へ変更し実施する。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 希望のあった学校へ障害者スポーツに関する専門的な知識のある団体を派遣し、参加・体験型の出前教室を行う		決算額	682		実績値	-	-	867				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策1(2)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 達成度の低い事業があるものの、新たに開始された事業を含めた各指標は全体的に高い傾向にある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業8 → 知見を有する大学等との連携は大切であり、専門家からの助言を十分に体育授業に反映させるためにも、事業の周知方法を工夫していただきたい。【再掲】 事業16 → 学校授業にバラスポーツを溶け込ませる新たな試みは、貴重な体験を通じた児童・生徒の理解増進につながるものである。初年度は2種目の実施にとどまったが、今後、実施可能な種目を増やすことも検討しながら魅力向上に努めていただきたい。

施策2 高齢者のスポーツ活動の促進【推進計画P44】

(3) 健康づくりに役立つスポーツ活動

①	生涯にわたって健康や体力の保持増進につなげていけるよう、簡単に取り組める軽運動・ストレッチなどのプログラムの提供や、専門指導者による出前健康教室等を開催するなど、高齢者が運動できる機会を提供します。また、自宅等で気軽に運動したい人に向けては、動画配信等を活用した取組などを推進します。	成果指標		R7(最新値)	R15(目標値)
		指標3	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	62.6%	70%以上
②	高齢者の介護予防や認知機能の低下予防のほか、孤立防止や活力増進が期待されるeスポーツ等の新たな技術やサービスの活用について、関連団体と連携しながら検討します。	指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	49.5%	80%以上

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・今後の取組	担当評価 評価理由
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			
17	65歳以上のいきいきプラザ運動教室	【事業目的】 65歳以上の高齢者が運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、要介護状態への移行を予防するため。	いきいきプラザのアリーナで、7クラスの運動教室(延べ301回)を開催した。	10,027	65歳以上のいきいきプラザ運動教室参加実人数(人)	目標値	/	200	200	200	区会回覧や市報、X、各事業でのチラシ配布等の広報活動を行った。延べ6,970人が参加した。	参加実人数は目標値よりも増加しているが、今後も新規参加者を増やす必要がある。	S
	健康増進課	【事業概要】 健康増進施設いきいきプラザにて、65歳以上を対象に、年齢と運動強度でクラスを分けて、運動指導、体力測定、栄養指導を実施する。 いきいき運動教室:65~74歳まで 元気はつらつ運動教室:75歳以上		10,337		実績値	192	213	226				
18	65歳未満を含む出前健康教室	【事業目的】 40歳から運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、早期から介護予防を行うため。	市内の集会所等で行う健康体操教室(65歳未満も含む)や企業の会場等で行う企業連携教室、新規参加者及び新規団体立ち上げ等を目的とした企画教室を開催した(延べ297回)。新規団体の立ち上げには至らなかったが、既存の健康体操教室等への参加につながった参加者がいた。また、区会回覧や各事業でのチラシ配布等で事業の周知を行った。	11,628	65歳未満を含む出前健康教室参加実人数(65歳以上の団体以外)(人)	目標値	/	900	900	900	延べ2567人が参加した。区会回覧や市報、ホームページ、X等の広報活動を行った。	事業の周知活動や企画教室を実施することにより、若い世代の新規参加者を増やす必要がある。	C
	健康増進課	【事業概要】 地区の集会所等を利用して、出前健康教室として、65歳未満を含む健康体操教室を実施する。		10,402		実績値	514	587	526				
19	65歳以上の出前健康教室	【事業目的】 65歳以上の高齢者が運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、要介護状態への移行を予防するため。	市内の集会所等に出向いて行う健康体操教室(65歳以上)は延べ599回開催、シルバーリハビリ体操は、延べ2,040回開催した。	21,015	65歳以上の出前健康教室参加実人数(65歳以上の団体)(人)	目標値	/	4,200	4,200	4,200	健康体操教室の実人数は、833人、シルバーリハビリ体操は1,523人であった。また、延べ人数は健康体操教室は延べ4,909人、シルバーリハビリ体操は延べ15,010人であった。区会回覧や市報、ホームページ、X等の広報活動を行った結果、健康体操教室は新規団体申込が3団体、シルバーリハビリ体操は新団体が5団体申し込みがあった。	参加者の高齢化等の理由により、団体人数の減少や活動を中止する団体があることから、HP・区会回覧等に加えて次年度は新たにふるさと通信での周知を行い新規団体及び新規参加者を募る必要がある。	C
	健康増進課	【事業概要】 地区の集会所等を利用して、65歳以上の高齢者を対象としたインストラクターやシルバーリハビリ体操指導士などによる体操を実施する。		20,407		実績値	2,526	2,297	2,356				

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策2(3)はやや遅れており、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度と比べ実績値が上昇した事業がみられるものの、設定した目標値からのギャップは大きい。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業18 → 高齢者におけるスポーツ活動には若い頃の運動習慣の定着が肝要であるものの、働く世代の運動不足は全国的な課題となっており本市もその例外ではないことから、魅力ある事業となるよう工夫いただきたい。

施策2 高齢者のスポーツ活動の促進【推進計画P44】

(4) 交流や生きがいづくりにつながるスポーツ活動

③	高齢者の健康づくりと交流の場として、年齢や健康状態、適性に合わせたスポーツ大会等を開催し、参加促進を図るとともに、多世代で楽しめるレクリエーションスポーツの普及・支援を図ります。	成果指標		R7(最新値)	R15(目標値)
		指標3	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	62.6%	70%以上
④	高齢者がいきいきと地域で過ごせるよう、シルバークラブやスポーツ振興会等におけるスポーツ活動を支援するなど、スポーツを通じて生きがいや仲間づくりにつながる機会を提供します。	成果指標		R7(最新値)	R15(目標値)
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	49.5%	80%以上

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
					指標名	R5	R6	R7	R8			
19	65歳以上の出前健康教室	【事業目的】 65歳以上の高齢者が運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、要介護状態への移行を予防するため。 【事業概要】 地区の集会所等を利用して、65歳以上の高齢者を対象としたインストラクターやシルバーハビリ体操指導士などによる体操を実施する。	市内の集会所等に出向いて行う健康体操教室(65歳以上)は延べ599回開催、シルバーハビリ体操は、延べ2,040回開催した。	予算額 21,015	目標値 65歳以上の出前健康教室参加実人数(65歳以上の団体)(人)	実績値 2,526	4,200	4,200	4,200	健康体操教室の実人数は、833人、シルバーハビリ体操は1,523人であった。また、延べ人数は健康体操教室は延べ4,909人、シルバーハビリ体操は延べ15,010人であった。区会回覧や市報、ホームページ、X等の広報活動を行った結果、健康体操教室は新規団体申込が3団体、シルバーハビリ体操は新規団体が5団体申し込みがあった。	参加者の高齢化等の理由により、団体人数の減少や活動を中止する団体があることから、HP・区会回覧等に加えて次年度は新たにふるさと通信での周知を行い新規団体及び新規参加者を募る必要がある。	C
	健康増進課			決算額 20,407								
20	いばらきねりんスポーツつば市大会の開催	【事業目的】 高齢者に適したスポーツ競技を通じて健康の保持増進を図るとともに、地域間の交流を深め明るく活力ある長寿社会の増進に寄与することを目的とする。また、県大会へのつば市代表の選考会(予選)を兼ねている。 【事業概要】 茨城県健康福祉祭の一環として、いばらきねりんスポーツつば市大会を開催する。	5月20日及び5月22日にグラウンドゴルフ予選会、6月4日につば市大会(ゲートボール・ベタソク・輪投げ・グラウンドゴルフ)を開催した。グラウンドゴルフ予選会には333名が参加し、上位128名がつば市大会に進出、その他競技は141名が参加した。ゲートボール、ベタソク、輪投げは上位2チーム、グラウンドゴルフは個人上位10名を県大会に推薦し、参加した。	予算額 1,691	目標値 参加者数(人)	実績値 508	550	550	550	団体競技は33チーム141名、個人競技は333名の参加者で盛況であった。高齢者が愛好するスポーツ競技を通じて、健康の保持増進や地域間の交流を深め、明るく活力ある長寿社会の増進に寄与することができた。	競技によって参加者数の差が大きく、参加者数もわずかなが減少傾向にあり、参加者の確保・増加を図っていく必要がある。チラシや広報紙を利用して周知し、さらに多くの参加者の利用促進に努める。全国大会出場者が出る年もあり、市として支援を検討していく必要がある。	A
	高齢福祉課			決算額 1,570								
21	シルバークラブでのスポーツ活動の促進	【事業目的】 能力に応じた社会参加活動を通じた、高齢者の生きがいづくりと健康の保持を図るため。 【事業概要】 地域の高齢者の生きがいと健康づくりのためにシルバークラブでのスポーツ活動を促進させる。	6地区のシルバークラブ連合会において、スポーツ交流会や大会等を開催した。 大穂地区:5回 豊里地区:4回 谷田部地区:18回 桜地区:6回 筑波地区:4回 室崎地区:4回	予算額 31,180	目標値 単位クラブ数(クラブ)	実績値 125	141	125	125	豊里多目的広場で10月28日に実施したニュースポーツ交流会には、76名が参加し、高齢者の健康の保持増進を図るとともに、生きがいを高めることに寄与した。	シルバークラブの会員増加策について検討していく必要がある。友愛訪問活動等を通じて、未加入者への積極的な声掛け運動、広報紙やフリーペーパー等による広報活動を行い会員の加入促進に努める。	A
	高齢福祉課			決算額 30,037								

評価結果	評価結果の分析等
B↓	<p>■ 施策2(4)はやや遅れており、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ大会やシルバークラブといった高齢者の地域スポーツに係る実績値が低下傾向にある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業20・21 → スポーツが与える効果には他者との交流といった側面もあることから、実績値の緩やかな低下傾向について分析した上で、地域で生活する高齢者の交流機会の在り方について検討を進めていただきたい。

施策3 障害者のスポーツ活動の促進【推進計画P45】

(5) スポーツ環境の向上と認知度向上

①	障害の有無にかかわらず、日常的にスポーツ施設を利用しやすい環境を整備するとともに、関連機関・団体と連携し、障害者が地域と交流する機会や健常者と共にスポーツができる機会の充実を図ります。	成果指標		R4(最新値)	R15(目標値)
		指標5	障害者の週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションの実施率	38.3%	50%以上
②	すべての市民の障害者スポーツに関する認知度や興味を高めていくことを目指し、参加・体験型のスポーツイベントを実施して障害者の社会参画や交流を促進します。また、競技にフィーチャーしたイベントを行うなど、障害者スポーツの普及を図ります。				

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			
16	障害者スポーツ体験出前教室	【事業目的】 出前教室を実施することで、児童生徒や先生の障害者スポーツに関する認知度や理解を深めることを期待する。	15校867人に体験してもらった。 車いすバスケット5校 ポッチャ10校	1,000		参加人数 (人)	目標値	-	800	850	多くの小学生に体験してもらい、障害者スポーツを知るきっかけを創出できた。	全校から実施の申込ができるよう周知活動を行う。また、令和8年度からは、より親しみやすい名称にするため「バラスポーツ体験出前教室」へ変更し実施する。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 希望のあった学校へ障害者スポーツに関する専門的な知識のある団体を派遣し、参加・体験型の出前教室を行う		682			実績値	-	-	867			
22	障害者スポーツのイベントの実施	【事業目的】 市民の障害者スポーツに関する理解を深めることで、障害者スポーツの活動の促進を図るため。	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2025の中で14種のスポーツ体験ブースを設置し、そのうち障害者スポーツとして車いすバスケット、卓球パレー、ポッチャ、シッティングパレーボールを実施した。	1,366		障害者スポーツ体験ブースの参加者数 (人)	目標値	500	500	500	障害者スポーツ体験ブース参加者数 ・車いすバスケット体験 160人 ・卓球パレー体験 302人 ・ポッチャ体験 372人 ・シッティングパレー体験 121人 延べ955人が参加した。	引き続き、多様な関係団体と連携し、障害者スポーツを通じて市民の理解と共生の促進に寄与できるよう、企画・運営を行う。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2024の中で、障害者スポーツ体験ブース企画を実施し、市民に体験や観戦をしてもらう。		1,064			実績値	512	1,052	955			
24	障害児運動教室の開催	【事業目的】 障害児の体力増強・交流・余暇活動等の充実を図るため。	健康増進施設いきいきプラザにて、計画通り全10回開催した。	294		参加者数 (人)	目標値	24	24	廃止	インストラクターの指導のもと、障害児の運動や交流、余暇活動の充実を図ることができた。	本事業開始時と比べ、現在は社会資源が豊富になり、障害児を受け入れる活動先が増えたことから事業の見直しを予定している。	B
	障害者地域支援室	【事業概要】 障害児の社会参加を促進する事業として、専門の指導者による障害児を対象としたスポーツ・レクリエーション教室を開催する。		261			実績値	19	24	18			
25	おひさまサンサン生き生きまつりの開催	【事業目的】 障害者(児)や高齢者、市民が共にスポーツやレクリエーションを行うことで社会参加を促進し、市民と障害者に対する理解と認識を深めるため。	つくばカピオにて、障害者と高齢者が合同で参加するスポーツイベントを開催。そのほか、屋外でポッチャなどだれでも自由に参加できる体験コーナーや物品販売会を実施した。	9,873		参加者数 (人)	目標値	920	940	960	障害者と高齢者が同じプログラムに参加し交流することで、お互いに理解を深め福祉への理解を図ることができた。	天候への配慮を含め、安全に配慮しながら、参加者増加が見込めるよう運営方法を継続的に検討する必要がある。	A
	障害者地域支援室、高齢福祉課	【事業概要】 障害者(児)社会参加を促進する事業として、「おひさまサンサン生き生きまつり」を開催し、市民の障害者に対する理解及び障害者の社会参加の促進を目指す。		7,027			実績値	841	795	922			

再掲

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
	担当部署			予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由	
26	「みんなで DO! スポーツ」の開催	<p>【事業目的】 知的障害者の心身のリフレッシュを図るとともに、ボランティアとの交流を深めることを目的とする。</p> <p>【事業概要】 障害者のスポーツを通じた地域との交流や仲間づくりを目的としてスポーツ交流事業を開催。</p>	<p>・年度内に10回開催(当初11回予定であったが、2月の活動は天候不良(降雪)のため中止) ・10回のうち1回は「おひさまサンサン生き生きまつり」へ参加 ・開催場所については、大穂体育館が工事により使用できなかったため、以下のとおり分散して実施 (大穂体育館3回、老人福祉センターとよさと〔現:高齢者支援センターとよさと〕3回、豊里体育館1回、東光台体育館1回、つくばカピオ1回、ポウリング施設1回)</p>	予算額	365	参加者数(人)	目標値		250	250	250	<p>・昨年度からの継続参加者に加え、新規登録者が3名増加した。 ・新たに中学生の参加者が加わったことで、参加者の年齢層が広がり、新たな交流が生まれている。 ・利用者は、日頃家族や学校関係者以外との交流機会が少ない状況にあるが、本事業を通じてボランティア等との交流機会が創出され、「参加を楽しみにしている」といった声も聞かれるなど、事業の効果が見られた。</p>	<p>・登録希望の問い合わせが増加しており、今後登録が進んだ場合、要項で定める定員(35名)に達する見込みである。そのため、新規登録者の受入余地が限られている状況にある。 ・今後は、参加者の固定化を防ぎつつ新規登録者の受入が可能なよう、要項の見直しも含めた受入体制の検討を行う。 ・参加者の増加に伴い、安全かつ円滑な事業運営のためには、ボランティアの安定的な確保が課題である。 ・今後は、大学生に加え、高校生や一般の方にも情報が届くよう情報発信を強化し、人材確保に努めていく。</p>	S
	つくば市社会福祉協議会			決算額	208		実績値	210	250	254				
27	体験乗馬療法事業の開催	<p>【事業目的】 乗馬を通して動物をふれあう心を養い、障害児と健常児の交流を図り、互いに密接に係わりながら、精神的安定を図るため。</p> <p>【事業概要】 地域生活支援事業における社会参加支援として、乗馬を通して、動物とふれあう心を養うとともに、障害児と健常児との交流を図る。</p>	<p>ノーマライゼーションの理念のもと、障害者等と健常児の交流の中で、アニマルセラピーの効果により、障害児の精神的安定と共に啓発を図ることを目的とし、「チャレンジアートフェスティバル」と同時実施した。</p>	予算額	462	参加者数(人)	目標値		270	290	310	<p>チャレンジアートフェスティバル会場にいた障害児・者と大清水公園に来た小学生以下の児童の多くが参加した。</p>	<p>より多くの障害児・者が参加できるようなかたちを検討していく。</p>	A
	障害者地域支援室			決算額	484		実績値	259	237	289				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策3(5)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会情勢や市民ニーズ等に即した事業の見直しを図りながら、障害者におけるスポーツ環境やパラスポーツに対する認知度の向上が図られている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業16 → 学校授業とパラスポーツをつなぐ新たな試みは、貴重な体験を通じた児童・生徒の理解増進に資するものである。初年度は2種目の実施にとどまったが、今後、実施可能な種目を増やすことも検討しながら魅力向上に努めていただきたい。【再掲】 事業24 → 社会情勢等に応じた事業の見直しは、市民ニーズに寄り添いながら施策を進めていく上で重要である。他方、後継となる事業の要否やその実施内容については、解決すべき行政課題を明確にし、十分に議論・検討いただきたい。

施策3 障害者のスポーツ活動の促進【推進計画P45】

(6) スポーツ活動を支える仕組みづくり

③	障害者のスポーツ活動をサポートする仕組みを構築するとともに、サポートする人材を育成し、イベント等への参加促進とスポーツ活動の拡充につなげます。また、つくば市スポーツ推進委員と連携し、地域に根付いた障害者スポーツの普及促進を図ります。	成果指標			R4(最新値)	R15(目標値)
		指標5	障害者の週1回以上のスポーツ・身体的レクリエーションの実施率		38.3%	50%以上
④	障害者のリハビリテーションや就労支援、社会参画のきっかけづくりにつなげるため、eスポーツ等の新たな技術やサービスの活用について、関連団体と連携しながら検討します。					

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
26	「みんなでDO!スポーツ」の開催	【事業目的】 知的障害者の心身のリフレッシュを図るとともに、ボランティアとの交流を深めることを目的とする。 【事業概要】 障害者のスポーツを通じた地域との交流や仲間づくりを目的としてスポーツ交流事業を開催。	・年度内に10回開催(当初11回予定であったが、2月の活動は天候不良(降雪)のため中止) ・10回のうち1回は「おひさまサンサン生き生きまつり」へ参加 ・開催場所については、大穂体育館が工事により使用できなかったため、以下のとおり分散して実施 (大穂体育館3回、老人福祉センターとよさと[現:高齢者支援センターとよさと]3回、豊里体育館1回、東光台体育館1回、つくばカピオ1回、ポウリング施設1回)	予算額 365	決算額 208	目標値	250	250	250	・昨年度からの継続参加者に加え、新規登録者が3名増加した。 ・新たに中学生の参加者が加わったことで、参加者の年齢層が広がり、新たな交流が生まれている。 ・利用者は、日頃家族や学校関係者以外との交流機会が少ない状況にあるが、本事業を通じてボランティア等との交流機会が創出され、「参加を楽しみにしている」といった声も聞かれるなど、事業の効果が見られた。	・登録希望の問い合わせが増加しており、今後登録が進んだ場合、要項で定める定員(35名)に達する見込みである。そのため、新規登録者の受入余地が限られている状況にある。 ・今後は、参加者の固定化を防ぎつつ新規登録者の受入が可能となるよう、要項の見直しも含めた受入体制の検討を行う。 ・参加者の増加に伴い、安全かつ円滑な事業運営のためには、ボランティアの安定的な確保が課題である。 ・今後は、大学生に加え、高校生や一般の方にも情報が届くよう情報発信を強化し、人材確保に努めていく。	S	
	つくば市社会福祉協議会		参加者数(人)	実績値 210	250	254							
28	障害者スポーツのサポーターや指導者の育成の支援	【事業目的】 障害者スポーツサポーター等の支援者を増やすことで、障害者のスポーツ活動への心理的又は物理的負担を減らし、参加を促すため。 【事業概要】 障害者スポーツのサポーターを育成するための体験会を開催し、直接に精神障害者がスポーツ施設を利用する上での必要な支援を学ぶ。	知的障害や発達障害のある方が地域のトレーニングジムを体験利用し、運動習慣の定着を促進させる「地域スポーツ体験会」を開催する際、同時にスポーツ推進委員を対象とした講座を開催し15名が受講することによって、パラスポーツに関わる人材の育成も進めた。	予算額 510	決算額 496	目標値	20	20	20	トレーニングジムにおける障害者への具体的なサポート方法等を身に付けることで、心理的障壁の低減といったパラスポーツの支援者としての資質向上につながった。	体験会の規模や頻度の都合上、一部のスポーツ推進委員に受講が限られているため、受講対象者を拡大すべく、まずは受皿となる機会を創出する方策を検討していく。	B	
	スポーツ振興課		障害者スポーツサポーター養成講座受講者数(人)	実績値 19	24	15							
29	シッティングスポーツ協会との連携	【事業目的】 障害者スポーツの推進のため、活動拠点を提供し、市民が障害者スポーツに触れる機会を提供する。 【事業概要】 覽書を締結し、月に1回、車いすバスケットの団体に体育館を貸し出す。	シッティングスポーツ協会と連携し、市内の車いすバスケットボールチーム「つくばSTRIX」に対し、谷田部総合体育館を定期的に貸し出すことによって練習機会の確保に努めた。	予算額 0	決算額 0	目標値	12	12	12	練習を公開することでパラスポーツに対する市民の理解増進につなげる取組を進める中、2月にはチーム主催の車いすバスケットボール大会を同体育館で開催し、選手やボランティアを含め約200名の来場があった。(市は会場の確保や広報活動の面で協力。)	パラスポーツの推進という共通目標に向け、シッティングスポーツ協会との連携を深化させながら、新たな試みについても積極的に検討していく。	S	
	スポーツ振興課		会場予約協力回数(回)	実績値 12	12	12							

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策3(6)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値に達していない事業や明確な課題があるものの、新たな連携も生まれるなどパラスポーツが着実に推進されている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業29 → パラスポーツを推進する各団体との連携は非常に有効であり、これまで実施していた活動拠点の提供からは一歩踏み出したといえる。これを一過性のものとはせずに、各団体と行政との相乗効果がさらに発揮されるよう連携を深めていただきたい。

施策4 成人のスポーツ活動の促進【推進計画P46】

(7) 気軽に取り組めるスポーツ活動

①	市民の健康や体力の保持増進を促すため、運動教室やスポーツ教室、出前健康教室を開催するなど、生涯にわたりスポーツに取り組める機会を提供します。また、健康づくりを支援する各種アプリの活用を促進するなど、スポーツへの参加促進を図ります。	成果指標				R7(最新値)	R15(目標値)
		指標3	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	62.6%	70%以上		
②	働き盛り世代や子育て世代などに向けては、開催時間や内容のみならず年代や性別、ライフスタイルなど、多様なニーズに対応したスポーツ機会を提供するとともに、オンライン等を活用して場所や時間に制限されることなく気軽に運動・スポーツに親しむ機会を提供するなど、スポーツへの参加促進を図ります。	指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	49.5%	80%以上		

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・今後の取組	担当評価 評価理由
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			
30	40歳から64歳までのいきいきプラザ運動教室	【事業目的】 40歳から運動を習慣化することで、身体機能を改善し、生活習慣病を予防するとともに、早期から介護予防を行うため。	いきいきプラザのアリーナで、2クラスの運動教室(延べ86回)を開催した。	749	749	40歳から64歳までのいきいきプラザ運動教室参加実人数(人)	目標値	80	80	80	区会回覧や市報、ホームページ、X等の広報活動を行った。延べ1314人が参加した。	定員に空きがあることから、新規参加者を増やす必要がある。	C
	健康増進課	【事業概要】 健康増進施設いきいきプラザにて、40～64歳までを対象として、運動指導、体力測定、栄養指導を行うアクティブ運動教室を実施する。			実績値		37	39	42				
31	茨城県ヘルスケアポイント事業	【事業目的】 市民一人ひとりの主体的な健康づくりを応援し、市全体の健康意識を高めるため。 また、健康づくりの取り組みに応じて、景品抽選イベントに応募できる機会をもうけるなどして、楽しみながら健康づくりを習慣づけるようにし、自身の健康への関心を高めていくため。	健康関連のイベントで周知活動を行い、春と秋の集団健診など健康を考える機会に合わせて事業のチラシを計1万部配布し、参加のきっかけを作った。	0(県アプリの使用料なし)	0(県アプリの使用料なし)	ダウンロード者数(人)	目標値	5,767	6,569	7,198	市民の健康づくりへの意識と関心を高めるきっかけづくり、設定した目標値も達成することができた。	今後も継続して周知活動を行い、利用者増加に向けて取り組んでいく。	S
	健康増進課	【事業概要】 本市が実施するスポーツイベントや講習会等の行事に参加した場合に、ポイントを付与し、市民のスポーツ参加を促進する。			実績値		4,706	5,891	7,042				
32	スポーツ教室・運動教室の実施	【事業目的】 スポーツ教室や運動教室を開催することで、より多くの市民にスポーツ参加の機会を創出し、スポーツの振興に貢献するため。	かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジ1 49人 かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジ2 94人 かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジ3 62人 かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジ4 70人 初心者ランニング教室 73人	539	92	参加者数(人)	目標値	500	500	500	かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジは、(一社)スポーツ協会と連携し、年間を通して少年団の存在する種目をほぼ全部実施することができた。 初心者ランニング教室は、今までランニングをしたことがなかった人等スポーツを始めるきっかけを提供することができた。教室参加者に、健康マラソンの案内をしたところ、参加する方もおり、単発の教室ではなく継続的な運動となった。	かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジは、参加者数を伸ばしていくため広報手段等を検討していきたい。 初心者ランニング教室は、一部本格的なランナーが混ざってしまうため、R8よりジョギング教室へ名称を変更して実施する。	B
	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツ教室や運動教室の開催を通して、スポーツの楽しさや健康の維持管理の方法を学び、市民のスポーツ活動の促進を図る。			実績値		457	328	348				

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策4(7)はやや遅れており、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績値は増加傾向にあるものの、各教室における参加者数は目標値と比べ低調である。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業32 → スポーツ教室は市民とスポーツをつなぐ基本的な役割を担っていることから、快適な環境下で運動できるよう開催時期を調整することや、参加者の属性に合わせた広報手段を活用するなどの工夫をしながら、市民ニーズに即したものとなるよう着実な改善に努めていただきたい。

施策4 成人のスポーツ活動の促進【推進計画P46】

(8) 仲間づくりや地域活動につながるスポーツ活動

③	地域資源を活用したスポーツイベント等の取組を通じて、世代間交流や仲間づくりにつながる機会を提供します。また、つくば市スポーツ協会のスポーツ振興会等の地域で活動している団体への支援を行うとともに、世代交代に向け、将来の地域活動を担う人材の育成を図ります。	成果指標		R7(最新値)	R15(目標値)
		指標3	18歳以上の市民の週1回以上のスポーツ実施率	62.6%	70%以上
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	49.5%	80%以上

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
33	スポーツフェスティバルの実施	【事業目的】 スポーツに参加する機会やスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、障害者スポーツに触れ、理解を深めることで、スポーツ活動の促進を図るため。	令和7年10月4日、つくばスポーツフェスティバル&つくパラ2025を(株)カシミ、関彰商事(株)、東京ガス(株)、(一社)つくば市スポーツ協会と共同で開催し、14種のスポーツ体験ブースに延べ964人が参加した。	1,366	1,064	目標値	1,200	1,200	1,200	スポーツ体験ブースを体験した回数が1人平均約5回(全体4723回)と多くのスポーツに触れる機会を提供することができた。	イベントの周知方法を変更したことにより参加者数が増加したため、今後も引き続き周知活動を強化し、さらなる参加者増加に向けて取り組んでいく。	A	
	スポーツ振興課	【事業概要】 子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツの日を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツフォーラムなどを行い、市民のスポーツ文化に対する理解を促すとともに、市民がスポーツについて交流する機会を提供する。	実績値	1,173	866	964							
34	「つくばウォークの日」運動普及事業	【事業目的】 健康増進・生活習慣病予防・介護予防の観点から、手軽にできるウォーキングを生活の中に取り入れる動機づけを行い、運動習慣の定着を目的として実施するため。	・イベントウォークを年5回実施した。 ・地区ウォーク期間を年6回実施した。 ・9月開催では、酷暑対策として屋内開催もできるように準備して実施した。 ・新たに3コースを設定して実施した。	561	455	目標値	1,000	1,000	1,000	イベントウォークには市民273人が参加し、地区ウォークでは351人が参加した。健康推進のためにウォーキングを取り入れるきっかけづくりとなった。	・参加人数の減少。 ・ボランティアで協力する運動普及推進員の高齢化。 ・広報活動の強化。 ・魅力あるコースの設定。 ・新規ボランティアの養成。	B	
	健康増進課	【事業概要】 毎月第1日曜日を「つくばウォークの日」と定め、ウォーキングイベントを開催したり、ウォーキングコースを紹介するなど、市民が運動に親しむ機会を提供する。	実績値	740	693	624							
35	つくば健康マラソン大会開催事業	【事業目的】 学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を図るため。	令和8年2月7日(土)に研究学園駅前公園で小中学生から一般の部まで計13種目のマラソン大会を実施した。	6,249	3,917	目標値	1,870	1,870	1,870	当日は0歳から79歳まで幅広い年齢層の方が参加し、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進に寄与した。 今大会から新たにファンラン&ウォークの部(1.2km)を新設したことで、ベビーカーで参加するなど、参加者層の幅を広げることができた。	小中学生の参加者数の減少が課題であり、今後周知を強化していくほか、種目の距離を見直し気軽に参加しやすい大会を目指す。	B	
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば健康マラソンを開催する。	実績値	1,369	1,232	1,326							

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
	担当部署			予 算 額	決 算 額	指 標 名	R5	R6	R7	R8			評 価 理 由
36	つくば市スポーツ協会との連携及び事業の補助	【事業目的】 (一社)つくば市スポーツ協会の事業を促進させ、地域のスポーツ活動の活性化を図るため。 【事業概要】 つくば市スポーツ協会及びその構成組織である専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会と連携し、本市のスポーツを推進する。また、同協会が行うスポーツ事業に対して補助を行う。	スポーツ大会・イベントの開催や市への協力に加え、各地域のスポーツ振興会や各競技の専門部会、スポーツ少年団を統括している同協会の地域スポーツに与える公益性に鑑み、総額21,400千円を交付し活動を補助した。	21,400	補助金交付額(千円)	目標値	19,000	21,400	21,400	補助金を原資として、同協会が主催する大会等のみならずスポーツ振興会や専門部会、スポーツ少年団による各種大会を開催することができた。また、体育館無料開放事業といった同協会の新規事業による収益確保策を後押しし、将来的な自走化に向けた取組を進めることができた。	単なる補助金の交付事務にとどまることなく、同協会の将来的な自走化に向けた助走期間として適正に交付するため、連携を密にしながら長期的な視点で事業構築を進めていく必要がある。	S	
	スポーツ振興課			21,400		実績値	19,000	19,000	21,400				

評価結果	評価結果の分析等
A↑	<p>■ 施策4(8)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績値の多くに上昇傾向がみられ、新たな取組も実施されている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業35 → 雪の中での開催となったものの前回を超える参加があり、地域に根差したイベントとしてランニング人口の増加に寄与していることが考えられる。新設したファンラン&ウォークの部で新たな参加者層を獲得したことに満足せず、ランナーの裾野をさらに広げていくための方策について継続して検討いただきたい。

施策5 スポーツをしる機会の提供【推進計画P47】

(9) すべての市民に向けた運動・スポーツをしる機会の提供

①	市民が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベントやスポーツ大会、多様なスポーツを体験・学べるイベント等を開催するなど、様々なアプローチにより、市民がスポーツに親しみ、交流できる機会を提供します。また、スポーツに無関心な人の興味関心を喚起するような啓発活動、イベントや体験の提供など、スポーツを知り、スポーツを始めるきっかけとなる機会を提供します。	成果指標				R7(最新値)	R15(目標値)
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	49.5%	80%以上		
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	9.8%	20%		

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
					指標名	R5	R6	R7	R8			
再掲 31	茨城県ヘルスケアポイント事業	【事業目的】 市民一人ひとりの主体的な健康づくりを応援し、市全体の健康意識を高めるため。 また、健康づくりの取り組みに応じて、景品抽選イベントに応募できる機会をもうけるなどして、楽しみながら健康づくりを習慣づけできるようにし、自身の健康への関心を高めていくため。	健康関連のイベントで周知活動を行い、春と秋の集団健診など健康を考える機会に合わせて事業のチラシを計1万部配布し、参加のきっかけを作った。	予算額 0(県アプリの使用料なし)	目標値	5,767	6,569	7,198	市民の健康づくりへの意識と関心を高めるきっかけをつくり、設定した目標値も達成することができた。	今後も継続して周知活動を行い、利用者増加に向けて取り組んでいく。	S	
	健康増進課	【事業概要】 本市が実施するスポーツイベントや講習会等の行事に参加した場合に、ポイントを付与し、市民のスポーツ参加を促進する。	決算額 0(県アプリの使用料なし)	実績値	4,706	5,891	7,042					
再掲 32	スポーツ教室・運動教室の実施	【事業目的】 スポーツ教室や運動教室を開催することで、より多くの市民にスポーツ参加の機会を創出し、スポーツの振興に貢献するため。	かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジ1 49人 かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジ2 94人 かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジ3 62人	予算額 539	参加者数(人)	目標値	500	500	500	かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジは、(一社)スポーツ協会と連携し、年間を通して少年団の存在する種目をほぼ全部実施することができた。 初心者ランニング教室は、今までランニングをしたことがなかった人等スポーツを始めるきっかけを提供することができた。教室参加者に、健康マラソンの案内をしたところ、参加する方もおり、単発の教室ではなく継続的な運動となった。	かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジは、参加者数を伸ばしていくため広報手段等を検討していきたい。 初心者ランニング教室は、一部本格的なランナーが混ざってしまったため、R8よりジョギング教室へ名称を変更して実施する。	B
	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツ教室や運動教室の開催を通して、スポーツの楽しさや健康の維持管理の方法を学び、市民のスポーツ活動の促進を図る。	かけっこ教室&わくわくスポーツ体験チャレンジ4 70人 初心者ランニング教室 73人	決算額 92		実績値	457	328	348			
再掲 33	スポーツフェスティバルの実施	【事業目的】 スポーツに参加する機会やスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、障害者スポーツに触れ、理解を深めることで、スポーツ活動の促進を図るため。	令和7年10月4日、つくばスポーツフェスティバル&つくば2025を(株)カスミ、関影商事(株)、東京ガス(株)、(一社)つくば市スポーツ協会と共同で開催し、14種のスポーツ体験ブースに延べ964人が参加した。	予算額 1,366	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値	1,200	1,200	1,200	スポーツ体験ブースを体験した回数が1人平均約5回(全体4723回)と多くのスポーツに触れる機会を提供することができた。	イベントの周知方法を変更したことにより参加者数が増加したため、今後も引き続き周知活動を強化し、さらなる参加者増加に向けて取り組んでいく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツの日を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツフォーラムなどを行い、市民のスポーツ文化に対する理解を促すとともに、市民がスポーツについて交流する機会を提供する。		決算額 1,064		実績値	1,173	866	964			
再掲 34	「つくばウォークの日」運動普及事業	【事業目的】 健康増進・生活習慣病予防・介護予防の観点から、手軽にできるウォーキングを生活の中に取り入れる動機づけを行い、運動習慣の定着を目的として実施するため。	・イベントウォークを年5回実施した。 ・地区ウォーク期間を年6回実施した。 ・9月開催では、酷暑対策として屋内開催もできるように準備して実施した。 ・新たに3コースを設定して実施した。	予算額 561	参加者数(人)	目標値	1,000	1,000	1,000	イベントウォークには市民273人が参加し、地区ウォークでは351人が参加した。健康推進のためにウォーキングを取り入れるきっかけづくりとなった。	・参加人数の減少。 ・ボランティアで協力する運動普及推進員の高齢化。 ・広報活動の強化。 ・魅力あるコースの設定。 ・新規ボランティアの養成。	B
	健康増進課	【事業概要】 毎月第1日曜日を「つくばウォークの日」と定め、ウォーキングイベントを開催したり、ウォーキングコースを紹介するなど、市民が運動に親しみ機会を提供する。		決算額 455		実績値	740	693	624			

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
	担当部署			予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由	
35	つくば健康マラソン大会開催事業	【事業目的】 学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を図るため。	令和8年2月7日(土)に研究学園駅前公園で小中学生から一般の部まで計13種目のマラソン大会を実施した。	予算額	6,249	当日参加者数(人)	目標値	/	1,870	1,870	1,870	当日は0歳から79歳まで幅広い年齢層の方が参加し、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進に寄与した。 今大会から新たにファンラン&ウォークの部(1.2km)を新設したことで、ペビーカーで参加するなど、参加者層の幅を広げることができた。	小中学生の参加者数の減少が課題であり、今後周知を強化していくほか、種目の距離を見直し気軽に参加しやすい大会を目指す。	B
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば健康マラソンを開催する。		決算額	3,917		実績値	1,369	1,232	1,326				
37	スポーツイベントに関するつくば市の後援名義の使用承認	【事業目的】 市以外の者が主催して行うスポーツイベント等に対し後援名義の使用を承認することで、市民のためのスポーツ活動を後押しすることができ、「スポーツで“つながる”まちつくば」にふさわしいスポーツの振興を図るため。	市内スポーツイベント等のつくば市後援名義の使用について、取扱要項に基づき審査を行い、承認した。	予算額	0	承認件数(件)	目標値	/	-	-	-	スポーツイベント等に対する後援名義の使用承認を通じて、市のスポーツ振興に寄与することができた。	引き続き迅速な審査を心掛け、遅滞なく事務を行う。	S
	秘書課	【事業概要】 各種団体が主催するスポーツイベント等に対して、申請に基づき、本市の後援名義の使用を承認する手続きを行う。		決算額	0		実績値	32	37	24				

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策5(9)はやや遅れており、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの事業において実績値が増加傾向にあるものの、いまだに目標値と比べ低調である。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業32 → スポーツ教室は市民とスポーツをつなぐ基本的な役割を担っていることから、快適な環境下で運動できるよう開催時期を調整することや、参加者の属性に合わせた広報手段を活用するなどの工夫をしながら、市民ニーズに即したものとなるよう着実な改善を進めていただきたい。【再掲】 事業35 → 雪の中での開催となったものの前回を超える参加があり、地域に根差したイベントとしてランニング人口の増加に寄与していることが考えられる。新設したファンラン&ウォークの部で新たな参加者層を獲得したことに満足せず、ランナーの裾野をさらに広げていくための方策について継続して検討いただきたい。【再掲】

施策5 スポーツをしる機会の提供【推進計画P47】

(10) スポーツ情報にふれる機会の拡充

		成果指標			R7(最新値)	R15(目標値)
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	49.5%		
②	つくば市で実施している事業に加え、各団体の活動情報をより多くの人に効果的に届けられるよう、関連する団体と連携を図りながら、市広報紙やウェブサイト、関連SNS等を活用し、情報発信を行います。	指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率	49.5%	80%以上	
③	ナッジの理論を活用するなど情報発信について研究し、スポーツに取り組むきっかけがなかった市民やスポーツに積極的にふれていなかった市民に向けて、効果的に情報を届ける新たな仕組みを検討します。	指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	9.8%	20%	

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
					指標名	R5	R6	R7	R8			
38	鹿島アントラーズとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。健康マラソン等市のイベントへマスコットキャラクターを派遣するとともに、試合の周知を行い、みるスポーツの推進を行った。特に、9年ぶりとなる9回目のJ1優勝を記念し、12月9日から19日まで市役所本庁舎1階にて特別展示を実施した。	予算額 -	目標値 PRデー市民申込者数(人)	1,500	1,500	1,500	試合のPRを行うことで「みる」「知る」スポーツの推進に協力をいただけた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	S リーグ日程の都合で今年度は招待デーを実施しなかったが、市イベントへの参加やチームのPRの協力を積極的に行ったため。	
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	決算額 -	実績値 -	2,024	-	-					
39	つくばユナイテッドサンガイとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市PRデー(3/1)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、116名の市民から申込があった。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。また、今年度より小中学校へ朝の挨拶運動を実施した。	予算額 -	目標値 PRデー市民申込者数(人)	100	100	100	団体と連携し、つくば市民の「みる」「知る」スポーツの推進に助んだ。つくば市の日については、定員を超えての申し込みがあった。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	S	
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	決算額 -	実績値 -	276	116	-					
40	茨城ロボッツとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。また、新規事業として、小学生を対象にバスケットボール教室を企画し実施した。	予算額 -	目標値 PRデー市民申込者数(人)	200	200	200	試合のPRを行うことで「みる」「知る」スポーツの推進に加え、教室を実施することで、「知る」「する」スポーツの推進にも協力いただけた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	A リーグ日程の都合で今年度は招待デーを実施しなかったが、新規でバスケットボール教室を実施することができた。	
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	【教室への参加者数】 小1～3年:41名 小4～6年:33名 中1～3年:20名	決算額 -	実績値 -	194	-	-				
41	つくばFCとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	女子チームのなでしこリーグ参入のため、新たに協定や覚書を締結し、リーグ参入への支援を行った。	予算額 -	目標値 PRデー市民申込者数(人)	200	200	200	新たに協定を締結し、さらなる連携の強化に努めた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	B 今年度は、PRデーが実施されなかったものの、なでしこリーグ参入に向けての支援を着実に進めた。	
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。		決算額 -	実績値 -	497	-	-				
42	スポーツ関連情報の提供	【事業目的】 市民へスポーツに関する情報提供することで、スポーツに関する興味・関心を高める。	市長への表敬訪問の様子を公式SNSや市広報紙によって情報発信することで、市民の多様なスポーツ活動を知る機会を広く提供し、一体となった応援の機運を醸成した。	予算額 0	目標値 SNS情報発信回数(イベント告知・報告)(回)	30	35	40	訪問した市民の一部からは、公式SNSや市広報紙の記事になることを心待ちにしている旨や、他の表敬訪問の記事を読み自身も訪問しようと考えた旨の意見が寄せられたことから、一連の情報提供が訪問への動機付けとなっていることが考えられる。	「しる」スポーツをさらに推進させるため、SNS媒体を拡充することによる発信力強化や、広報部門と連携した魅力あるコンテンツの作成について検討を進めていく。	S	
	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツに関連のあるトピックについて、広報誌への掲載やSNSへの投稿を行う。		決算額 0	実績値 24	38	44					

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
	担当部署			予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
43	表敬訪問	【事業目的】 訪問時の会談をとおして市長等から激励を受ける機会や、その風景を広報することで、スポーツを行う市民のモチベーションや啓発を図るため。	大会の出場者に市長からの激励の機会を提供し、その様子をプレスリリースや市公式SNSを通じて発信した。 ・表敬訪問件数 22件	0	0	表敬訪問(件数)	目標値	14	14	14	表敬訪問を行うことでスポーツを行う市民の動機付けとなるとともに、つくば市で活躍する選手等の情報を市民に発信することができた。	引き続き、市長等の激励により、選手・指導者のモチベーション向上と競技力向上に寄与するとともに、市民に対してスポーツの知る機会を提供する。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 輝かしい成績を残したスポーツ選手や監督コーチが市長等に表敬訪問をする際に日程調整やプレスリリース、SNS等とおした情報発信を行う。		0	実績値	14	26	22					

評価結果	評価結果の分析等
S	<p>■ 施策5(10)は順調に進んでおり、評価は「S」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携協定を締結しているスポーツチームと多岐に渡り連携するとともに、表敬訪問等を広報することで市民がスポーツをしる機会を創出している。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業42・43 → 広報コンテンツとしてのスポーツは、市民のスポーツに対する機運を高める上で重要であり、広報部門とも連携しながら表敬訪問を始めとした各種コンテンツの発信方法等について工夫いただきたい。また、SNSや広報紙などを適切に活用しながら民間団体が実施するスポーツイベント等の取組を後押しすることで、スポーツ振興の好循環を創出していただきたい。

施策5 スポーツをしる機会の提供【推進計画P47】

(11) つくばらしいスポーツ文化の創出

④	健康づくりとして気軽に取り組めるウォーキングやランニングについては、スポーツイベントの充実に努めるとともに、つくば市ならではの自然風景、歴史や街並みを楽しめるフットパスコース、ウォーキングコース等のPRを図り、身近なスポーツとしての活用を推進します。	成果指標			R7(最新値)	R15(目標値)
		指標4	18歳以上の市民のスポーツ観戦率			49.5%
⑤	つくば市最大のスポーツイベントであり、全国からランナーが集まるつくばマラソンや、つくば霞ヶ浦りんりんロード、筑波山を活用したサイクリングなどのスポーツイベント、スポーツ大会の開催により、つくばらしいスポーツ文化を創出し、スポーツを通じた交流を図ります。	指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率		9.8%	20%
⑥	国際都市つくばにふさわしいスポーツを通じた国際交流機会の拡大を目指し、市内在住の外国の方を含め、すべての市民に多様な交流機会を提供します。					

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標					R7成果・効果	課題・今後の取組	担当評価 評価理由
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			
再掲 33	スポーツフェスティバルの実施	【事業目的】 スポーツに参加する機会やスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、障害者スポーツに触れ、理解を深めることで、スポーツ活動の促進を図るため。	令和7年10月4日、つくばスポーツフェスティバル&つくパラ2025を(株)カスミ、関影商事(株)、東京ガス(株)、(一社)つくば市スポーツ協会と共同で開催し、14種のスポーツ体験ブースに延べ964人が参加した。	1,366	1,064	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値	1,200	1,200	1,200	スポーツ体験ブースを体験した回数が1人平均約5回(全体4723回)と多くのスポーツに触れる機会を提供することができた。	イベントの周知方法を変更したことにより参加者数が増加したため、今後も引き続き周知活動を強化し、さらなる参加者増加に向けて取り組んでいく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 子どもから高齢者まで、市民が集い、交流するために、スポーツの日を実施し、スポーツフェスティバルやスポーツフォーラムなどを行い、市民のスポーツ文化に対する理解を促すとともに、市民がスポーツについて交流する機会を提供する。	1,064	1,173	実績値		866	964					
再掲 35	つくば健康マラソン大会開催事業	【事業目的】 学生から高齢者までの健康づくり、体力向上及びランニングの普及を図るため。	令和8年2月7日(土)に研究学園駅前公園で小中学生から一般の部まで計13種目のマラソン大会を実施した。	6,249	3,917	当日参加者数(人)	目標値	1,870	1,870	1,870	当日は0歳から79歳まで幅広い年齢層の方が参加し、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進に寄与した。 今大会から新たにファンラン&ウォークの部(1.2km)を新設したことで、ベビーカーで参加するなど、参加者層の幅を広げることができた。	小中学生の参加者数の減少が課題であり、今後周知を強化していくほか、種目の距離を見直し気軽に参加しやすい大会を目指す。	B
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば健康マラソンを開催する。	3,917	1,369	実績値		1,232	1,326					
44	つくばマラソン開催事業	【事業目的】 集客力のある大規模なイベントを開催することで、スポーツの楽しみや健康の増進や参加者の交流の場を提供し、スポーツでつながるまちづくりに寄与するとともに、市のPRにつなげるため。	令和7年11月23日(日)に予定通り開催した。 主会場:つくば市役所 参加者:フルマラソン 9,026人、ファンラン 305人	15,000	15,000	当日参加者数(人)	目標値	10,200	8,500	10,200	全国的に多くのマラソン大会が定員割れとなる中、フルマラソンの部がエントリー開始から約23分で定員に達しており、つくばマラソンの運営が多くのランナーに選ばれ愛されている証と考える。	東新井地区の交通渋滞や給水所の提供遅れ等コース変更を行ったことで新たに発生した問題を解決する必要がある	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。	15,000	9,916	実績値		10,551	9,026					
45	フットパスコースの設定、PRの取組	【事業目的】 筑波山麓や田園地帯、古い街並み等の昔ながらの風景を楽しむながら周遊観光を促進する。	筑波山麓地域等のフットパスの他に市内全域を対象とした新たな周遊観光モデルコースを6コース策定し、公開PRを実施した。	550	550	パンフレットの配布数(枚)	目標値	32,000	31,500	32,000	これまでと同様にパンフレットの配布等により周遊コースをPRすることで筑波山のみならず、市内各地域の観光誘客に寄与した。	【課題】 フットパスコースの一部改訂の検討や道標の維持管理のため、修繕が必要。 【取組】 適宜パンフレットの修正及び市内周遊観光モデルコースの新コース造成とPRを行う。	S
	観光推進課	【事業概要】 筑波山麓地域や各地域をめぐるコースの設定及びマップ作成を行い市内の魅力をPRする。	550	32,000	実績値		31,000	35,000					

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標				R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
	担当部署			予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			R8	評価理由
46	ランニングマップの発行	【事業目的】 つくば市ならではの自然風景、街並みを楽しめるランニングコースをPRするため。	筑波大学の鍋倉教授による授業での活用や、つくばマラソン練習会での配布を行った。その他、市内体育館や交流センター等への配布を行った。	138	0	ランニングマップ配布数(冊)	目標値	300	300	300	気軽にランニングを楽しめる環境を周知したことで、市民の健康増進の一助となった。	より多くの市民に周知できるような工夫をする必要がある。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 市内のスポーツ施設等でランニングマップを配布する。	実績値	200	300		300						

評価結果	評価結果の分析等
S↑	<p>■ 施策5(11)は順調に進んでおり、評価は「S」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新コースとなったつくばマラソンを核としたスポーツ文化が着実に醸成されている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業35 → 雪の中での開催となったものの前回を超える参加があり、地域に根差したイベントとしてランニング人口の増加に寄与していることが考えられる。新設したファンラン&ウォークの部で新たな参加者層を獲得したことに満足せず、ランナーの裾野をさらに広げていくための方策について継続して検討いただきたい。【再掲】 ・ 事業44 → コースの大幅リニューアルによって市民生活に一定の影響が生じたことが考えられるが、これからもつくば市のレガシーとして多くの市民に愛され続けられるよう、開催による影響を可能な限り低減できるよう計画的な準備に努めていただきたい。

施策6 スポーツ団体・組織の基盤強化及び指導者等の育成【推進計画P49】

(1) スポーツ団体・組織の支援

①	つくば市スポーツ協会を構成している専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会のほか、つくば市レクリエーション協会等への支援を行うとともに、多様な連携を図りながら、スポーツ・レクリエーションを推進します。	成果指標		R7(最新値)	R15(目標値)
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	9.8%	20%
②	総合型地域スポーツクラブ等と連携したスポーツの推進に関する事業を進めるとともに、市内スポーツ団体を支援するなど、スポーツ推進基盤を強化します。	指標7	つくば市スポーツ協会の登録会員数	7,259人	9,300人以上
		指標8	スタートコーチ養成講座受講者数	163人	230人

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			
47	スポーツ推進委員協議会の組織及び研修	【事業目的】 スポーツ推進委員の活動の促進と資質の向上を図り、地域スポーツ活動の指導者として市民のスポーツ活動の活性化に貢献するため。	60名のスポーツ推進委員との連携の下、各地域におけるスポーツ振興を図るとともに、本市のスポーツ事業への協力や研修会への出席等によって各委員の資質向上を図った。また、活動の促進に差し当たり、担い手の確保が課題となっていたことから、弾力的な任命を可能とする制度改正を行った。	26	13	スポーツ推進委員研修会の実参加人数(人)	目標値	28	29	30	市の研修会のみならず、国や県の研修会も含め延べ85名が受講した。また、各種研修会で得た知見を発揮する場として、つくばマラソンを始めとした本市のスポーツ事業に対し延べ109名に協力いただいた。	担い手を確保するための制度改正を踏まえ、現委員と協調しながら地域スポーツを支える人材を発掘していく。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 スポーツ推進委員を任命し、スポーツ推進委員協議会を組織し、研修をとおしてスポーツの指導者や障害者スポーツの知識を学び、市や地域のスポーツ事業や地域のスポーツボランティア活動に生かす。				実績値	27	20	29				
48	地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツ交流の支援	【事業目的】 合併前の旧町村の体育協会が実施してきた事業に倣い、各地域におけるスポーツを通じた交流と健康増進のため。	専門部会(86事業)、地域スポーツ振興会(50事業)、スポーツ少年団の各部会が行事を開催した。	12,650	11,038	スポーツ協会登録会員数(人)	目標値	7,000	7,200	7,400	市民のスポーツ活動を行う場を提供することができた。	成人のスポーツ活動は、部会によって伸び率に差がある。より多くの方が参加しやすいように、広い会場に変更するなど、多様な大会運営を行えるように工夫していく。	S
	つくば市スポーツ協会	【事業概要】 地域の区会、スポーツ振興会などにおけるスポーツを通じた交流を支援する。また、そのための近隣の公共施設等の利用の便宜を図る。				実績値	6,951	7,051	7,259				
49	つくば市レクリエーション協会との連携及び事業の補助	【事業目的】 健全なるレクリエーションを普及発展させるとともに、会員の親睦を図り、地域レクリエーション活動を推進する。	補助金30,000円を交付するとともに、同協会が「つくば市カンタンボッチャ交流大会&シャフルボード体験」を開催するにあたり、広報活動及び会場確保において協力した。	30	30	会員数(人)	目標値	30	30	30	補助金を交付し、市民のスポーツ・レクリエーション活動やつくばマラソンの給水ボランティアを実施することで地域の交流に寄与した。	引き続き、つくば市レクリエーション協会の活動を支援する。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば市レクリエーション協会と連携し、本市のスポーツ・レクリエーションを推進する。また、同協会が行う事業に対して補助を行う。				実績値	32	31	33				

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
	担当部署			予 算 額	決 算 額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
50	総合型地域スポーツクラブ・ 拠点クラブの支援	【事業目的】 人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる環境を整備するため。	総合型地域スポーツクラブが主催するイベントの開催に際し、会場確保や広報活動といった支援をすとも、つくば市スポーツ協会を通じた講師派遣などの連携を進めた。	0	-	目標値	/	-	-	-	地域に根差した各クラブの活動を支援し、つくば市スポーツ協会を交えながら連携することで地域スポーツを振興した。	適切な支援を継続しつつ、今後の学校部活動の方向性に応じて、つくば市スポーツ協会を通じた関与の可能性も念頭に置きながら連携していく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 国及び関係団体が実施している総合型地域スポーツクラブ及び拠点クラブに関する事業と連携し、活動の支援を行う。		0		実績値	-	-	-	-			

評価結果	評価結果の分析等
S↑	<p>■ 施策6(1)は順調に進んでおり、評価は「S」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果指標の上昇がみられ、制度を改正するといった工夫も行われている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業47・48 → 地域スポーツの振興に当たっては、スポーツ推進委員を始めとした地域の先導役を発掘・確保するとともに、スポーツ協会がハブとなって機能することの両輪が肝要である。地域力の低下が叫ばれている中ではあるが、部活動の地域展開を始めとした地域スポーツを取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応いただきたい。

施策6 スポーツ団体・組織の基盤強化及び指導者等の育成【推進計画P49】

(2) 指導者の養成と地域リーダーの育成

③	スポーツ団体と連携して、「安全に、正しく、楽しく」スポーツを指導できる指導者や、地域におけるスポーツ交流を促進するリーダーを育成するとともに、資質のある人材の確保に取り組み、特に次世代を担う若年層の指導者や女性指導者の積極的な登用を図ります。また、地域とのコーディネーター役であるつくば市スポーツ推進委員の活動を促進するとともに、地域で運動を始めるためのきっかけづくりと組織的な活動の推進を図る運動普及推進員を養成します。	成果指標			
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率	R7(最新値)	R15(目標値)
④	子どもへの安全で安心な指導を行えるよう、つくば市スポーツ協会と連携した指導者講習会や茨城県内の事業等を活用するほか、教員のための指導者研修会を実施します。また、部活動の地域移行を見据え、各団体の協力のもと、大学生等の若い世代や地域で活動する市民に向けて積極的に指導者講習会の受講を促します。	指標7	つくば市スポーツ協会の登録会員数	7,259人	9,300人以上
		指標8	スタートコーチ養成講座受講者数	163人	230人

再掲

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績		成果指標					R7成果・効果	課題・今後の取組	担当評価 評価理由	
			R7事業費(歳出) 単位:千円	R7活動実績	指標名	R5	R6	R7	R8				
36	つくば市スポーツ協会との連携及び事業の補助	【事業目的】 (一社)つくば市スポーツ協会の事業を促進させ、地域のスポーツ活動の活性化を図るため。	予算額	21,400	補助金交付額(千円)	目標値	/	19,000	21,400	21,400	補助金を原資として、同協会が主催する大会等のみならずスポーツ振興会や専門部会、スポーツ少年団による各種大会を開催することができた。また、体育館無料開放事業といった同協会の新規事業による収益確保策を後押しし、将来的な自走化に向けた取組を進めることができた。	単なる補助金の交付事務にとどまることなく、同協会の将来的な自走化に向けた助走期間として適正に交付するため、連携を密にしながら長期的な視点で事業構築を進めていく必要がある。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば市スポーツ協会及びその構成組織である専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会と連携し、本市のスポーツを推進する。また、同協会が行うスポーツ事業に対して補助を行う。	決算額	21,400		実績値	19,000	19,000	21,400				
51	つくば市スポーツ協会及び関係団体の指導者の養成及び資質の向上	【事業目的】 スポーツ活動に関わる指導者の資質を向上させるため。	予算額	0	リーダー養成講習会受講人数(人)	目標値	/	-	170	180	スポーツ少年団の指導者を志す方々に基礎知識を学んでいただく場を提供することができた。	令和7年度は、他自治体でも同じ講習を多く開催したことで、受講者が分散した。今後は、指導者のニーズも確認し、開催時期や会場を工夫していく。	A
	つくば市スポーツ協会	【事業概要】 スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会を年2回実施し、スポーツ少年団のみならず小中学生世代のスポーツ指導を行う指導者の資質を向上させる。	決算額	0		実績値	113	168	163				
52	運動普及推進員の養成講座及び活動の実施	【事業目的】 急速な高齢化の進展とともに、生活習慣病が増加し、介護や支援を要する高齢者が増えていること等から、市民自らが、すずんで健康づくりを行うことができるよう、特に日常生活の中に運動習慣を普及する目的で、つくば市運動普及推進員として地域に密着したかたちで活動するボランティアの養成を行うものとするため。	予算額	0	運動普及推進員養成講座実施回数(回)	目標値	/	1	0	1	令和8年度実施予定の養成講座の計画、準備が行えた。	・運動普及推進員の高齢化。 ・協力事業への有資格者の減少。	S
	健康増進課	【事業概要】 運動普及推進員の養成講座を行い、資格を付与し、委嘱を行い、健康増進事業の協力、企画運営、地域での運動のきっかけづくり、地区での組織的な活動の推進を図る。	決算額	0		実績値	0	1	0				

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標				R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
	担当部署			予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			R8	評価理由
53	国のプロジェクトの活用	【事業目的】 スポーツ庁などの国が実施する事業やプロジェクトなどを活用することで、市だけの財源によらないスポーツ推進を図るため。	日本スポーツ協会の事業を活用しながら、指導者を養成する講習会をつくらば市スポーツ協会が主体となり開催し、スポーツ少年団の指導者を志す163名が受講した。また、補助金や企業版ふるさと納税といった国の制度の活用について、関係団体と連携しながら検討を進めた。	0		目標値	/	-	170	180	多くの方々に基礎知識の学習の場を提供することができた。また、国の諸制度については活用に至っていないものの、関係団体とともに前向きな検討を進めることができた。	引き続き、国のスポーツ施策の動向を注視しつつ、資金獲得のための諸制度の活用について関係団体との調整を進めていく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 国等が実施する多様なプロジェクトなどを本市のスポーツの推進に積極的に活用する。国から委託を受けている(公財)日本スポーツ協会の指導者養成事業などを活用する。	0		実績値	113	168	163					

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策6(2)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なり手の確保や高齢化の進展など検討すべき諸課題がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業53 → スポーツ振興に資する国の制度については、スポーツ庁のみならず関係府省庁における制度も多数存在することから、その把握に努めるとともに、活用に際しては関係者等からのニーズを丁寧に汲み取った上で調整を進めていただきたい。

施策7 多様な主体との連携・協働【推進計画P50】

(3) 多様な主体との連携

①	つくば市の強みである大学や研究機関、企業、また、地域や各スポーツ団体・組織等と連携・協働体制を深め、「ささえる」スポーツの充実やスポーツの推進に取り組みます。	成果指標	R7(最新値)	R15(目標値)
②	大学や研究機関との連携においては、各主体の知見を活用し、更なる可能性の創出に向けた取組やSDGs達成に向けた取組などを検討します。例えば、スポーツイベント等における最新デジタル技術の活用や、学校教育や市民の健康づくり・スポーツ活動におけるデータ分析の支援、国際都市つくばとしてホストタウンの登録や海外アスリートとの国際交流を推進します。			
③	大学や研究機関等によるスポーツ医・科学に関する知見を活用し、アスリート等に対する総合的なサポート体制を整備するとともに、競技力向上への活用を検討します。			
④	庁内においては、スポーツ振興課及び関係部署で情報共有を図り、連携を強化しながら、一体的にスポーツ活動に係る施策や事業等に取り組みます。			

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標				R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
					指標名	R5	R6	R7			R8	評価理由
再掲 14	スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施	【事業目的】 参加者がスポーツに触れる機会を提供する。	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2025において、スポーツ体験ブースを企業、スポーツチーム、つくば市スポーツ推進委員が出展し、各スポーツのPR活動を行った。	予算額 1,366	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値	1,000	1,000	1,000	参加者の継続的なスポーツ活動に繋げるため、出展者に積極的なPR活動を促したことで運営も活発化した。	引き続き、出展者に各スポーツのPR活動を行ってもらい、市民の継続的なスポーツ活動につなげることで、スポーツ実施率の向上を図る。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくばスポーツフェスティバル&つくばパラにおいて、市内等で活動している団体に参加してもらい、各スポーツのPRを行う。	決算額 1,064	実績値		1,173	866	964				
再掲 29	シットिंगスポーツ協会との連携	【事業目的】 障害者スポーツの推進のため、活動拠点を提供し、市民が障害者スポーツに触れる機会を提供する。	シットिंगスポーツ協会と連携し、市内の車いすバスケットボールチーム「つくばSTRIX」に対し、谷田部総合体育館を定期的に貸し出すことによって練習機会の確保に努めた。	予算額 0	会場予約協力回数(回)	目標値	12	12	12	練習を公開することでバラスポーツに対する市民の理解増進につなげる取組を進める中、2月にはチーム主催の車いすバスケットボール大会を同体育館で開催し、選手やボランティアを含め約200名の来場があった。(市は会場の確保や広報活動の面で協力。)	バラスポーツの推進という共通目標に向け、シットिंगスポーツ協会との連携を深化させながら、新たな試みについても積極的に検討していく。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 賞書を締結し、月に1回、車いすバスケットの団体に体育館を貸し出す。	決算額 0	実績値		12	12	12				
再掲 36	つくば市スポーツ協会との連携及び事業の補助	【事業目的】 (一社)つくば市スポーツ協会の事業を促進させ、地域のスポーツ活動の活性化を図るため。	スポーツ大会・イベントの開催や市への協力に加え、各地域のスポーツ振興会や各競技の専門部会、スポーツ少年団を統括している同協会の地域スポーツに与える公益性に鑑み、総額21,400千円を交付し活動を補助した。	予算額 21,400	補助金交付額(千円)	目標値	19,000	21,400	21,400	補助金を原資として、同協会が主催する大会等のみならずスポーツ振興会や専門部会、スポーツ少年団による各種大会を開催することができた。また、体育館無料開放事業といった同協会の新規事業による収益確保策を後押しし、将来的な自走化に向けた取組を進めることができた。	単なる補助金の交付事務にとどまることなく、同協会の将来的な自走化に向けた助走期間として適正に交付するため、連携を密にしながら長期的な視点で事業構築を進めていく必要がある。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくば市スポーツ協会及びその構成組織である専門部会、スポーツ少年団、スポーツ振興会と連携し、本市のスポーツを推進する。また、同協会が行うスポーツ事業に対して補助を行う。	決算額 21,400	実績値		19,000	19,000	21,400				
再掲 38	鹿島アントラーズとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。健康マラソン等市のイベントへマスコットキャラクターを派遣するとともに、試合の周知を行い、みるスポーツの推進を行った。特に、9年ぶりとなる9回目のJ1優勝を記念し、12月9日から19日まで市役所本庁舎1階にて特別展示を実施した。	予算額 -	PRデー市民申込者数(人)	目標値	1,500	1,500	1,500	試合のPRを行うことで「みる」「知る」スポーツの推進に協力をいただけた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	決算額 -	実績値		-	2,024	-				
再掲 39	つくばユニテッドサンガイとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市PRデー(3/1)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、116名の市民から申込があった。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。また、今年度より小中学校へ朝の挨拶運動を実施した。	予算額 -	PRデー市民申込者数(人)	目標値	100	100	100	団体と連携し、つくば市民の「みる」「知る」スポーツの推進に励んだ。つくば市の日については、定員を超えての申し込みがあった。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	決算額 -	実績値		-	276	116				

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
再掲 40	茨城口ボツとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。また、新規事業として、小学生を対象にバスケットボール教室を企画し実施した。	0	-	PRデー市民 申込者数 (人)	目標値	200	200	200	試合のPRを行うことで「みる」「知る」スポーツの推進に加え、教室を実施することで、「知る」「する」スポーツの推進にも協力いただけた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	【教室への参加者数】 小1～3年:41名 小4～6年:33名 中1～3年:20名	0	-		実績値	-	194	-			リーグ日程の都合で今年度は招待デーを実施しなかったが、新規でバスケットボール教室を実施することができた。
再掲 41	つくばFCとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	女子チームのなでしこリーグ参入のため、新たに協定や覚書を締結し、リーグ参入への支援を行った。	0	-	PRデー市民 申込者数 (人)	目標値	200	200	200	新たに協定を締結し、さらなる連携の強化に努めた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	B
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。		0	-		実績値	-	497	-			今年度は、PRデーが実施されなかったものの、なでしこリーグ参入に向けての支援を着実に進めた。
55	筑波大学との協力	【事業目的】 筑波大学との連携を深め、大学スポーツの魅力を周知することにより市民のスポーツ活動への啓発をするため。	筑波大学が市民の週末のお出かけ先となることを目指し、筑波大学が学内に建設中の「Sport Complex for Tomorrow(仮称)」や学生アスリートといった資源の活用方策について、複数回の意見交換を踏まえながら検討を進めた。	0	0	-	目標値	-	-	-	複数回の意見交換によって筑波大学との協関係が深まり、双方が実施している各施策において相乗効果が生まれている。	筑波大学が市民の週末のお出かけ先には選ばれるよう、大学が有するスポーツ資源を市民に還元するための方策について、引き続き足並みを揃えながら検討を進めていく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 筑波大学関連団体の主催のスポーツイベントに広報活動や会場確保などの支援を行う。また、市の事業を筑波大学関係者からの協力を得ながら連携して行う。		0	0		実績値	-	-	-			協関係の深化の余地を踏まえて、現状は「概ね順調に進んでいる」と判断し評価Aとした。

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策7(3)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な主体との連携が進んでおり、引き続き個々の連携を深化させる余地がある。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業29 → パラスポーツを推進する各団体との連携は非常に有効であり、これまで実施していた活動拠点の提供からは一歩踏み出したといえる。これを一過性のものとはせず、各団体と行政との相乗効果がさらに発揮されるよう連携を深めていただきたい。【再掲】 事業55 → 筑波大学が建設を進めている「Sport Complex for Tomorrow(仮称)」については、競技者の育成や研究の発展のみならず、地域コミュニティを高める拠点となり得ることから、大学と地域がスポーツを通じて強固につながるよう、必要に応じて大学と連携いただきたい。

施策7 多様な主体との連携・協働【推進計画P50】

(4) 諮問機関における調査・審議

⑤	スポーツ団体関係者、学識経験者などから構成する「つくば市スポーツ推進審議会」において、つくば市のスポーツの推進に関する事項を市長の諮問に応じて調査・審議します。	成果指標				R7(最新値)	R15(目標値)
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率			9.8%	20%

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
54	スポーツ推進審議会事業・スポーツ推進計画の進行管理	【事業目的】 行政の見識だけにとらわれず、スポーツ団体関係者、学識経験者などの意見を市のスポーツ施策に反映させるため。	スポーツ団体関係者や学識経験者、市民などからの多様な意見等を施策に反映させるため、スポーツ推進審議会を2回開催した。	276	審議会開催数(回)	目標値	2	2	2	第2次スポーツ推進計画に紐づく89事業について、計画年度の初年度となる令和6年度の進捗を評価した上、多様な意見等と併せてフィードバックすることによって各事業の改善を促すことができた。	引き続き、各事業の進捗を適切に評価し、必要に応じて見直しや改善等を促していく。また、スポーツ施策を取り巻く社会情勢等に鑑み、その必要性に応じて開催する。	S	
	スポーツ振興課	【事業概要】 本市のスポーツの推進に関する事項について市長の諮問に応じて調査、審議及び建議を行う。		124		実績値	5	2	2				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策7(4)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指標は目標値を達成しているが、この施策の最終目的はスポーツ施策への反映であり、現時点ではその途上にあると考えられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業54 → 第2次スポーツ推進計画に紐づく各事業の進捗評価に限らず、本市のスポーツ行政における課題等について諮問するなど、積極的に多様な意見を取り入れていただきたい。

施策7 多様な主体との連携・協働【推進計画P50】

(5) 多様な連携を通じた啓発活動

⑥	つくば市にかかわりのあるトップスポーツチームやアスリート、大学等と連携し、次世代を担う子どもを主体とした、多くの市民との交流の場を提供するなど、市民のスポーツ活動に対する効果的な啓発を推進します。	成果指標				R7(最新値)	R15(目標値)
		指標6	つくば市や地域スポーツ団体が開催するスポーツイベント(全般)の参加率			9.8%	20%
⑦	多様な主体との連携・協働により、スポーツイベントやスポーツ大会等を開催・誘致するなど、地域の活性化と市民の「しる」機会の提供、「みる」スポーツへの興味関心及び応援の機運醸成を図ります。						

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
					指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
再掲 14	スポーツ選手等のスポーツ人材と連携した各種事業の実施	【事業目的】 参加者がスポーツに触れる機会を提供する。	つくばスポーツフェスティバル&つくばパラ2025において、スポーツ体験ブースを企業、スポーツチーム、つくば市スポーツ推進委員が出展し、各スポーツのPR活動を行った。	予算額 1,366	つくばスポーツフェスティバル参加者数(人)	目標値	1,000	1,000	1,000	参加者の継続的なスポーツ活動に繋げるため、出展者に積極的なPR活動を促したことで運営も活発化した。	引き続き、出展者に各スポーツのPR活動を行ってもらい、市民の継続的なスポーツ活動につなげることで、スポーツ実施率の向上を図る。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 つくばスポーツフェスティバル&つくばパラにおいて、市内等で活動している団体に参加してもらい、各スポーツのPRを行う。	決算額 1,064	実績値		1,173	866	964				
再掲 55	筑波大学との協力	【事業目的】 筑波大学との連携を深め、大学スポーツの魅力を知ることにより市民のスポーツ活動への啓発をするため。	筑波大学が市民の週末のお出かけ先となることを目指し、筑波大学が学内に建設中の「Sport Complex for Tomorrow(仮称)」や学生アスリートといった資源の活用方策について、複数回の意見交換を踏まえながら検討を進めた。	予算額 0	-	目標値	-	-	-	複数回の意見交換によって筑波大学との協力関係が深まり、双方が実施している各施策において相乗効果が生まれている。	筑波大学が市民の週末のお出かけ先に選ばれるよう、大学が有するスポーツ資源を市民に還元するための方策について、引き続き足並みを揃えながら検討を進めていく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 筑波大学関連団体の主催のスポーツイベントに広報活動や会場確保などの支援を行う。また、市の事業を筑波大学関係者からの協力を得ながら連携して行う。	決算額 0	実績値		-	-	-				
56	つくば市全国スポーツ大会等出場報奨金	【事業目的】 全国スポーツ大会等に出場する選手を激励すると共に、市民のスポーツ・レクリエーションの振興と競技力の向上及び国内、国外の親善を図るため。	全国・国際大会の出場者の105人(暫定値)に対して、合計965,000円(暫定値)の報奨金を交付することで支援した。また、より多くの選手に交付するための制度改正の検討を進めた。	予算額 1,400	支給対象者数(人)	目標値	79	79	79	大会の出場者に報奨金を交付することで、大会への参加意欲を高め、スポーツ活動の促進に寄与した。	事業の周知を強化し、市民に制度の利用を促すことで、スポーツ・レクリエーションの振興と競技力の向上を図る。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 全国スポーツ大会等に出場する市民に対して補助・支援を行う。	決算額 965	実績値		79	112	105				

評価結果	評価結果の分析等
A	<p>■ 施策7(5)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 改正の検討を進めた報奨金制度を始め、各事業に改善の余地がみられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業55 → 筑波大学が建設を進めている「Sport Complex for Tomorrow(仮称)」については、競技者の育成や研究の発展のみならず、地域コミュニティを高める拠点となり得ることから、大学と地域がスポーツを通じて強固につながるよう、必要に応じて大学と連携いただきたい。【再掲】 事業56 → 実績値が減少している点については、選手を激励しスポーツの機運を向上させることを目的としている本制度の趣旨に鑑み、上昇に転ずるよう制度改正と併せて必要な広報活動を実施いただきたい。

施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理【推進計画P53】

(1) 整備及び維持管理

①	市民が安全で利用しやすいスポーツ環境を目指し、市民ニーズの把握に努めるとともに、市内のスポーツ施設の修繕や改修など適正な管理を行います。また、陸上競技場等のスポーツ施設について、市民のニーズに合わせた整備を推進します。	成果指標				R7(最新値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度			14.0%	55%以上
②	市民が運動やスポーツに親しみ、交流の場として利用できるよう、スポーツ関連施設や、健康の保持増進のための施設、野外活動・キャンプ等の施設の適切な管理・運営に努めるとともに、地域交流センター、ふれあいプラザ等の活用を図ります。						

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標				R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
					指標名	R5	R6	R7				R8
57	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進	【事業目的】 スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する場を確保するため。	施設窓口に管理人を配置し、受付業務や施設の清掃・管理業務を年度を通して実施した。また、施設の植栽管理についても年度を通して専門業者に依頼した。	予算額 147,827	屋内体育施設利用者数(人)	目標値	320,000	320,000	320,000	滞りのない管理・運営により施設利用が行われた。谷田部総合体育館72,234人、桜総合体育館90,820人、筑波総合体育館25,476人、大穂体育館7,533人、吉沼体育館15,776人、豊里体育館13,888人、東光台体育館19,906人、豊里柔剣道場14,060人	大穂体育館外2施設で長期休館を伴う修繕工事があった影響で、昨年度より利用者数が減少した。次年度以降も修繕工事の予定があるので、複数の体育館で同時に休館とならないよう調整していく。特定の体育館や休日等において利用予約が困難となっており、効率的な利用の検討も必要である。	A
	スポーツ施設課	【事業概要】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。	決算額 138,430	実績値 275,450		272,760	259,693					
58	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進	【事業目的】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。	スポーツ施設(有料施設)には管理人を配置し、秩序ある施設運営を継続することができた。	予算額 -	公園スポーツ施設利用者数(人)	目標値	371,000	371,000	371,000	洞峰公園においては、スポーツ教室を実施することによりテニス、プールの利用促進を図ることができた。	テニスコートやプールなど利用頻度の多く老朽化している施設において計画的な修繕を実施し、継続的な施設運営を図る。	S
	公園・施設課	【事業概要】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。 ※令和6年2月に茨城県から洞峰公園の管理を開始した。前計画との整合のためR5実績値に洞峰公園の利用者数は含まず。	決算額 -	実績値 245,231		398,995	390,508					
59	スポーツ施設・公共空間等の管理及び利用の促進	【事業目的】 地域交流センターにおける市民の交流と生涯学習の場を提供するため。	地域交流センター活動団体一覧表について、市ホームページへの掲載及び地域交流センターへ設置し、希望者が自由に閲覧できるようにした。	予算額 690,011	スポーツ関係サークル団体登録数(地域交流センター)(団体)	目標値	180	180	180	目標値は達成できなかったが、スポーツ関係のサークル団体登録数は徐々にコロナ禍以前の登録数に回復しつつある。	地域交流センター講座等を通して、参加者同士がサークル団体として市民活動が継続するよう推進していく。	A
	地域交流推進課	【事業概要】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。	決算額 635,656	実績値 167		174	175					
60	地域交流センターの活用	【事業目的】 地域交流センターにおける市民の交流と生涯学習の場を提供するため。	地域交流センター講座において16講座(延べ47回)開催した ・ヨガ、ピラティス、ストレッチ、エクササイズ等	予算額 5,726	自主講座参加者数(数)	目標値	430	430	430	地域交流センター講座の参加者数について、目標値であった430人を大きく上回り、564人の参加者数があった。	スポーツ関係の講座を実施すると共に、土日や夜間の開催等を検討するなど、幅広い世代の市民が受講できるよう、講座企画の充実を図る。	S
	地域交流推進課	【事業概要】 各地域交流センターにおいて、スポーツ関連の講座を開講し、また付属する施設でスポーツをすることによって、住民の自発的な活動の促進を図り、地域の交流を促す。	決算額 3,861	実績値 424		622	564					
61	ふれあいプラザの活用	【事業目的】 ふれあいプラザにおける市民の自主的な活動と交流の場を提供するため。	・フィットネスプールの通常貸出しのほか、定期講座の開催や子供向けイベントの実施 ・軽運動室の通常貸出しのほか、ストレッチや健康体操等の定期講座の開催	予算額 92,113	フィットネスプール利用者数(人)	目標値	13,000	13,000	13,000	目標値は達成できなかったが、フィットネスプール利用者数は徐々にコロナ禍以前の利用者数に回復しつつある。	フィットネスプールの通常貸出しのほか、定期講座の開催や子供向けイベントの充実を図り、施設利用者の促進を図る。	A
	地域交流推進課	【事業概要】 市民の自主的なスポーツ活動及び交流と生涯学習の機会を提供するために、ふれあいプラザのフィットネスプール、ホール、軽運動室等を積極的に活用する。	決算額 90,260	実績値 12,191		12,851	11,821					

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
				指標名	R5	R6	R7	R8	評価理由					
62	体育施設の改修及び維持管理	【事業目的】 体育施設を良好な状態に保つため。	施設修繕79件、備品修繕7件	予算額	132,824	実施件数 (件)	目標値	/	-	-	-	施設及び備品の状態に起因する事故やケガがなく、安全な施設運営を実施した。	施設の老朽化により、改修内容が複雑化し、費用の高額化や長期の休館が必要となる場合がある。施設の点検等により、早期に修繕することで費用、休館期間の抑制を図る必要がある。	B
	スポーツ施設課	【事業概要】 市内の体育施設(グラウンド、テニスコート、柔剣道場、体育館)の改修及び維持管理(施設修繕、備品修繕)を行う。		決算額	139,113		実績値	73	74	86	当初予算を超える修繕費用が必要となったことや、つくばウェルネスパークにおいて、設備の不具合による緊急的な休館があったため。			
63	公園の運動施設の改修及び管理	【事業目的】 スポーツ施設及び関連する公共空間を管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。	スポーツ施設の改修及びLED照明工事を実施した。 主な改修工事内容: ・テニスコート改修(2公園) ・小貝川スポーツ公園野球場外野グラウンド張芝工事 ・LED照明改修工事(4公園) 外	予算額	-	-	目標値	/	-	-	-	テニスコートの改修計画を着実に進め、安全で安心な施設環境の整備を図ることができた。 また、スポーツ施設の照明についても、計画的にLED化を推進した。	テニスコートについては、改修計画を基本としながら、利用状況や施設の現状を正確に把握し、適切に改修を進めていく。 また、LED照明についても計画的に推進していく。	A
	公園・施設課	【事業概要】 市内の公園の運動施設(プール、テニスコート、野球場、多目的広場など)を改修し、維持管理する。		決算額	-		実績値	-	-	-	危険度の高い箇所の改修及び照明のLED化を複数実施することができたため。			
64	つくばウェルネスパークの管理	【事業目的】 つくばウェルネスパークを良好な状態に保つため。	指定管理者制度を導入しており、設備の維持管理やイベント開催等について専門的な知識を有する管理者による管理・運営が行われた。 計画的な施設修繕に加え、突発的な機器故障等に対応する修繕工事を行った。	予算額	114,120	ヘルスプラザ 利用者数 (人)	目標値	/	186,000	186,000	186,000	修繕工事のため、施設を合計約4か月休館したことにより、ヘルスプラザ利用者数が減少した。 ヘルスプラザ利用人数 92,846人、フットボールスタジアムつくば利用人数 45,685人、スポーツフィールド利用人数4,928人	指定管理者と連携しながら、利用者ニーズに沿った講座等の実施や施設運営に取り組む。 修繕による休館が長期化しており、老朽化設備等の修繕計画を策定する必要がある。	B
	スポーツ施設課	【事業概要】 市民の運動の場及び保養の場の提供、健康の保持増進のために、ヘルスプラザ、フットボールスタジアムつくば(セキショウ・チャレンジスタジアム)、スポーツフィールドなどのスポーツ施設を管理・運営する。		決算額	114,120		実績値	124,131	144,230	92,846	約4か月程度の休館を考慮し、186,000人の目標値の2/3となる124,000人に対する達成率として「評価B」に引き上げた。			
65	つくばカピオ管理運営事業	【事業目的】 市民が安全で利用しやすいスポーツ環境の整備・提供をするため。	(開館日数) アリーナ:344 指定管理者として公益財団法人つくば文化振興財団を指定し、法定点検等の的確な実施、緊急時に備えた訓練や職員的能力・資質の向上のための研修等を実施し、安全・安心な利用環境の提供に努めた。	予算額	158,548	利用スポーツ 団体数(団体)	目標値	/	100	100	100	(スポーツ利用日数) アリーナ:291 プロバレーボールやボクシングジム主催の試合、大相撲つくば場所などの興行に加え、バスケットボールクラブチームによる大会、バドミントン強豪校の合宿、その他市民のスポーツ練習にて日々利用されている。	経年劣化による雨漏り等が突発的に発生しているため、利用に差し支えないよう計画的に修繕が必要である。	A
	芸術文化推進課	【事業概要】 つくばカピオを管理運営し、アリーナなどをスポーツ活動や市民の交流の場として提供する。		決算額	154,644		実績値	91	78	71	利用スポーツ団体数の実績値は目標値に対し71%だが、アリーナの開館日数に対するスポーツ利用日数の割合が約85%であり、高い水準で市民にスポーツを通じた交流の場を提供することが出来たため、評価を引き上げた。			
66	いきいきプラザの活用	【事業目的】 運動を通して市民の基礎体力の向上を図り、健康を維持し、健康で豊かな生活をしていただくために活用するため。	いきいきプラザが活動を支援する自主活動団体のうち、プラザを活動場所とする6団体を含めた一般団体により458回の利用があった。	予算額	8,453	一般貸出件 数(件)	目標値	/	500	500	500	自主活動団体を含む一般団体へのプラザアリーナ貸出しにより、年間て延べ13694人に運動の機会を提供することができた。	夜間の利用には空きがあることから、施設利用の促進を図っていく必要がある。	A
	健康増進課	【事業概要】 健康増進施設いきいきプラザを活用して、運動を通して市民の体力の向上を図り、健康の維持増進を図る。		決算額	6,994		実績値	493	470	458				
67	野外活動・キャンプ等関連施設の維持管理	【事業目的】 市内の観光資源を最大限に生かし、年間を通じた誘客により観光産業の活性化を図る。	【筑波ふれあいの里】 コテージ(4人用)屋根外壁改修工事、ほか、筑波山麓自然学校を年7回開催した。 【豊里ゆかりの森】 昆虫館屋根・外壁改修工事、工芸館木工棟トイレ改修工事及びアスレチック遊具更新工事を実施した。 【聖崎こもれび六斗の森】 駐車場整備工事、パーベキュー場屋根外改修工事、防犯灯修繕工事を実施した。	予算額	338,992	施設利用者 数(人)	目標値	/	31,000	32,500	34,000	各施設とも老朽化した施設の改修工事等の実施により、施設利用者の安全性の確保と魅力向上が図れた。	【課題】 各施設とも老朽化した施設があり継続して修繕や魅力ある施設へと改修を実施していく必要がある。 【取組】 利用者の満足度向上のため各施設とも設備の修繕や施設の改修工事等が予定されている。	S
	観光推進課	【事業概要】 野外活動・キャンプ等のための施設を備えている豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、聖崎こもれび六斗の森などの施設の管理運営を行う。		決算額	300,285		実績値	29,031	35,969	33,798				

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
					指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由	
68	流星台スケートボードパークの活用	【事業目的】 流星台スケートボードパークを管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。	流星台スケートボードパーク専任の管理人を配置し、秩序あるパーク運営を継続することができた。	予算額		-	施設利用者数(人)	目標値	6,200	6,200	6,200	降雨などの天候以外の理由による施設の閉鎖を避け、継続的に施設運営を行うことができた。	施設の維持管理を継続し、利用者の要望を踏まえた施設更新の検討を行う。
	公園・施設課	【事業概要】 流星台スケートボードパークを管理し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。		決算額	-	実績値		6,121	5,596	5,089			
69	みどりのプールの活用と管理	【事業目的】 みどりのプールを良好な状態に保ち、広く活用を促すため。	指定管理者制度を導入しており、学校授業中は安全管理を担当するなど専門的な知識を有した指定管理者による管理・運営を行った。開業一周年イベントや無料開放日等のイベント実施及びつくば市内や隣接市であるつくばみらい市へのチラシ配布により、認知度の向上を図った。	予算額	93,582	施設利用者数(人)	目標値	92,000	70,000	88,000	学校利用と一般利用の際の運用の切り替えを効率的に行うことができ、計画的な学校授業の実施に貢献するとともに、学校以外の利用者数も増加傾向となっている。学校利用人数9,812人、一般利用人数52,554人、専用利用人数3,008人、教室利用人数19,793人、イベント人数4,841人	指定管理者と連携しながら、利用者ニーズに沿った講座等の実施や施設運営に取り組む。	S
	スポーツ施設課	【事業概要】 スポーツの普及及び地域の振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与するとともに、つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校における授業を行うため、プール、トレーニングルーム及び会議室等を維持管理する。		決算額	91,842		実績値	-	63,915	80,196			
70	サイクルパークつくばの活用	【事業目的】 市内の自転車利用の中核となる場を提供することにより、自転車の利用促進及び地域の振興に寄与するため。	・6/14~6/15に開催された「2025JBMXF大東建託シリーズ第3戦つくば大会」を誘致した。 ・10/11~10/12に開催された全日本チャンピオンを決める「第42回全日本自転車競技選手権BMXレーシング」を誘致した。 ・11/3に自転車イベント「Pedal Day Go」を開催した。 ・「弱虫ペダルつくばBMXレーシングシリーズsupported by沼尻産業」を計5戦、「沼尻産業つくばBMXレーシングシリーズ2026」の第1戦が開催された。 ・つくば市におけるBMXの振興及びBMXを活用した地域の活性化等に寄与することを目的とし、10/9に公益財団法人日本自転車競技連盟(JCF)とBMXを通じた取組に関する連携協定を締結した。	予算額	23,856	施設利用者数(人)	目標値	6,000	6,250	6,500	・BMXコースを中心に多くの来訪があった。 ・自転車イベント「Pedal Day Go」は約3,500人の参加があり、自転車競技のみならず、自転車を楽しむ機運を醸成した。	・BMXコース利用のみではなく、ロードバイクやクロスバイクなどでサイクリングを楽しむ層により利用してもらえるよう、施設の認知度を上げる。 ・周辺の小学校や高校などと連携し、BMX体験会やワークショップなどのイベントを実施することにより、BMXを通じた子供たちの学びや成長の機会を創出する。	S
	サイクルコミュニティ推進室	【事業概要】 ナンヨナルサイクルルートに指定されているつくば霞ヶ浦りんろードやヒルクライムを楽しむサイクリストで賑わう筑波山不動峠からほど近いBMXレーシングコースを備えた自転車拠点サイクルパークつくばを管理・運営する。		決算額	23,856		実績値	3,040	9,629	8,850			
71	学校体育施設の維持管理	【事業目的】 学校体育施設を適切に維持管理及び改修を行い、スポーツ環境の確保を図るため。	高崎中学校の体育館において、屋根・外壁等の改修を行う長寿命化改修工事を実施した。(2か年工事)	予算額	140,237	工事件数(件)	目標値	1	1	1	安全に活動ができるスポーツ環境を確保した。	高崎中学校の体育館で実施している長寿命化改修工事は、2か年工事となっているため、令和8年度も引き続き工事を実施し、スポーツ環境の整備を図る。	S
	教育施設課	【事業概要】 学校施設長寿命化計画に基づき、学校体育施設の維持管理を行う。		決算額	51,130		実績値	0	1	1			

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標				R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
	担当部署				指標名	R5	R6	R7			R8	評価理由
72	陸上競技場の整備検討	【事業目的】 つくば市内に陸上競技場を整備するため。	R8年度完了予定の旧上郷高校解体 工事を開始した。 また、つくば市陸上競技場整備基本 実施設計業務を設計業務委託者と進 めた。	予 算 額	492,093	-	-	-	-	R7年度中に予定していた旧上 郷高校解体工事は予定 通り進んでいるが、同じくR7 年度中に完了を予定していた 陸上競技場の設計業務がR8 年度に完了する見込みとなっ た。	陸上競技場整備工事のスケ ジュールに影響を与えないよ うに、設計業務と解体工事を 完了させる必要がある。	A
	スポーツ施設課	【事業概要】 公認記録(日本陸上競技連盟が認める記録)をとることが でき、障害者や高齢者等誰もが利用しやすい、つくば市に ふさわしい施設を整備する。		決 算 額	93,255							

評価結果	評価結果の分析等
B↓	<p>■ 施策8(1)はやや遅れており、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの事業において成果指標が低下傾向にあり、老朽化や物価高騰といった影響がみられる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業62 → スポーツをするに当たっては使用する施設の維持管理は必要不可欠であることから、引き続き定期的に点検・修繕いただくとともに、現下の物価高騰といった社会情勢へも柔軟に対応できるよう計画的に進めていただきたい。 事業69 → オープン初年度となる昨年度から利用者数が3割近く増加しており、積極的な周知活動が実ったものとする。学校利用と一般利用を切り替えながら運用できる本施設については、より多様な市民が利用可能な施設となるよう、できる限り弾力性のある運営を心掛け、さらなる利便性の向上に努めていただきたい。

施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理【推進計画P53】

(2) バリアフリー化の推進

③	すべての市民が利用しやすく、更に障害者スポーツ競技者にとっても利用しやすい施設となるようバリアフリー化を進め、適切な維持管理を行います。また、障害者の利用も含めて広く施設に関する情報を共有します。	成果指標		R7(最新値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	14.0%	55%以上

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
					指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由	
73	施設のバリアフリー化(スポーツ施設課)	【事業目的】 障害者や高齢者等が安心・安全に施設を利用できるようにするため。 【事業概要】 体育施設(グラウンド、テニスコート、柔剣道場、体育館)のバリアフリー化や、主に大規模な修繕や更新等の際に、誰もが使いやすい施設となるようユニバーサルデザインへの対応を実施する。 また、夏期の熱中症、冬期の低温対策のため体育館へエアコンを順次設置する。	空調設備設置について、大穂体育館アリーナに設備を新設し、R8年度工事のため、筑波総合体育館の設計業務を行った。また、迅速に空調設備の設置を行うため賃借による方法を検討した。	予算額	167,310	実施件数(件)	目標値	-	-	-	大穂体育館の利用者は、1年中を通して、安全・安心にスポーツを楽しむことができるようになった。	R8年度は筑波総合体育館で設置工事に着手するほか、賃借による空調設備の設置を行うこととし、谷田部総合体育館で実施する。	S 1年度に1施設以上の空調設備設置を達成しているため。
	決算額			80,872	実績値		7	5	1				
74	施設のバリアフリー化(公園施設課)	【事業目的】 スポーツ施設をバリアフリー化し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供するため。 【事業概要】 スポーツ施設をバリアフリー化し、利用を促進することによって、市民がスポーツに参加する機会を提供する。	公園内でのバリアフリー工事は実施できたが、スポーツ施設での工事は実施することはできなかった。	予算額	-	改修件数(件)	目標値	-	-	-	トイレ洋式化の実施 洞峰公園 (男子1基、女子1基) 聖崎運動公園 (男子1基、女子1基)	スポーツ施設についても計画的に改修工事を実施し、バリアフリー化を図る。	B 施設状況を把握し、改修の検討をしたが、工事まで進められなかったため。
	決算額			-	実績値		1	2	0				
75	施設のバリアフリー化(地域支援課)	【事業目的】 地域交流センター利用者の安心・安全な施設環境を提供するため。 【事業概要】 地域交流センター利用者に安心・安全な市民交流と生涯学習の場を提供するため、適切な維持管理と整備を行う。	・聖崎交流センター別館:玄関入口導線へのスロープ及び点字ブロック、トイレの段差解消及び手すり設置 ・春日交流センター:エレベーター新設、玄関入口導線へのスロープ及び点字ブロック、トイレの段差解消及び手すり設置	予算額	690,011	工事件数(件)	目標値	-	-	-	春日交流センターにおいては、エレベーターの設置により、2階への上り下りの負担が軽減され、高齢者やベビーカー利用者などを含む幅広い世代の利用が可能となった。(～令和8年7月末まで工事中)	交流センターへのエレベーター設置を求める市民の要望は高く、市としてもその必要性を認識しているものの、大規模改修に必要な予算の確保が課題となっている。	A 長寿命化改修工事等により、施設のバリアフリー化を実施し、利用者の利便性・安全性の向上が図れたため評価をAとした。
	決算額			635,656	実績値		1	0	2				
76	施設のバリアフリー化(教育施設課)	【事業目的】 施設のバリアフリー化を推進することで、だれもがスポーツができる環境を確保するため。 【事業概要】 学校施設長寿命化計画に基づき、学校体育施設のバリアフリー化を図る。	高崎中学校の体育館において、長寿命化改修工事を実施する中で、多目的トイレやスロープを整備した。(2か年工事)	予算額	140,237	工事件数(件)	目標値	1	1	1	施設のバリアフリー化により、誰もが安心してスポーツができる環境を確保した。	高崎中学校の体育館で実施している長寿命化改修工事において、バリアフリー工事を同時に実施し、スポーツ環境の整備を図る。	S
	決算額			51,130	実績値		0	1	1				

評価結果	評価結果の分析等
B	<p>■ 施策8(2)はやや遅れており、評価は「B」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設におけるバリアフリー化が着実に進められているものの、市民ニーズは依然として高い。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業73 → スポーツ基本法が明記する「スポーツを行う権利」を保障すべく、各スポーツ施設が先陣を切りバリアフリー化を図っていただきたい。

施策8 スポーツ施設等の整備及び維持管理【推進計画P53】

(3) 利便性の向上

④	学校体育施設の利用については、運用・利用方法の見直しを図り、地域への開放を推進します。	成果指標		R7(最新値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	14.0%	55%以上
⑤	スポーツ施設の利用については、現行のシステムで可能な施設の空き状況の確認や、予約については継続実施するとともに、利用登録カード発行手続きの簡素化や支払い方法の見直しなど、ICTやIoTを活用したシステムを検討します。				

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
					指標名	R5	R6	R7	R8			
77	学校体育施設の開放	【事業目的】 スポーツをする場と交流の機会を提供するため。	・システム「スポコミねっと」を導入し、オンラインで手続きができるようにして利用者の負担軽減を図った。 ・システム「スポコミねっと」に連携したキーボックスを導入し、セキュリティ面の向上を図った。 ・学校体育施設を継続的に使用しようとする団体からの許可申請を受付し、学校と調整の上、許可書を交付し、開放事業を推進した。 ・抜き打ちで利用実態調査を実施した。	予算額 15,420	開放学校数 (校)	目標値	49	49	51	・令和7年度に受付した申請数:655件(当初568件、追加87件) ・体育施設の新規開放や調整会議の円滑な運営の実施により、多くの利用者にスポーツをする場と交流の機会を提供した。	・利用実態調査やアンケート調査を行い、多くの団体が利用できるような、利用時間の制限や運営方法など、制度の見直しを行う。 ・適切な利用を促すため、利用団体に対して周知活動を行う。	S
	教育施設課	【事業概要】 学校体育施設を市民に開放し、スポーツをする場と交流の機会を提供する。		決算額 10,823		実績値 47	49	49				
78	県立高等学校体育施設開放事業	【事業目的】 市内で活動しているスポーツ団体へ練習場所を提供する。	前年度末に3団体から申請を受け付け、高校側と調整を行った上で、使用開始の許可を行った。	予算額 -	-	目標値	-	-	-	3団体が事業を利用し、スポーツ活動を行った。 【活動種目】 野球・バスケットボール・アーチェリー	貸出可能施設が上限のため、新規の団体の参入は不可能。	S 利用希望団体が円滑に活動できるように調整を行えたため。
	スポーツ振興課	【事業概要】 茨城県の県立学校体育施設開放促進事業に基づき、つくば市内の県立高等学校の体育施設を開放する。		決算額 -		実績値 -	-	-				
79	施設予約システムの改修	【事業目的】 施設利用者にとって、より予約を便利にするため。	新しい予約システムの導入に向けて、関係部署との協議を行った。またプロポーザルにより新システムを構築する業者と契約の締結を行った。	予算額 0	予約カード登録者数(人)	目標値	11,400	11,500	11,600	より利用者にとって利便性の高いシステムとすることで、今後の登録者数の増加や、利用者満足度の向上が見込まれる。	R8年9月の新システム運用開始に抜けて、関係部署や契約の相手方である業者と、予約システムの運用方法等について、協議を行う必要がある。 また、新システムについて利用方法周知やシステムトラブルへの対応を想定する必要がある。	S
	スポーツ施設課	【事業概要】 体育施設利用のインターネット予約ができる現行システムの更新も含め、利便性の向上について検討する。		決算額 0		実績値 11,314	11,821	11,987				

評価結果	評価結果の分析等
S↑	<p>■ 施策8(3)は順調に進んでおり、評価は「S」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムの導入を始めとした利便性の向上が図られている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業77・79 → 新たな予約システムの導入を検討しているスポーツ施設においては、先行事例となる教育施設の知見を活用いただくなど、利用者の負担が最小となるよう取り組んでいただきたい。また、導入済みの教育施設においても、導入によって新たに生じた課題等を洗い出すなど適切な効果検証の上で見直しを進めていただきたい。

施策9 スポーツ環境の整備【推進計画P54】

(4) 地域特性をいかしたスポーツ環境の充実

①	「ランナーに愛されるまち」「自転車のまちづくり」の一層の推進を図るため、ランニングに関する取組を周知するとともに、茨城県のつくば霞ヶ浦りんりんロード利活用促進活動と連携した広域レンタサイクル事業とつくば市のレンタサイクルやシェアサイクル事業の実施、周知を進めます。	成果指標			
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	R7(最新値)	R15(目標値)
②	多様な主体と連携して、地域スポーツをいかしたスポーツ観戦などの機会を提供し、「みる」スポーツの機運醸成を図ります。			14.0%	55%以上

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		成果指標				R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7			R8	評価理由
再掲 38	鹿島アントラーズとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。健康マラソン等市のイベントへマスコットキャラクターを派遣するとともに、試合の周知を行い、みるスポーツの推進を行った。特に、9年ぶりとなる9回目の「1優勝を記念し、12月9日から19日まで市役所本庁舎1階にて特別展示を実施した。	予算額	-	PRデー市民 申込者数 (人)	目標値	1,500	1,500	1,500	試合のPRを行うことで「みる」「知る」スポーツの推進に協力をいただけた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	決算額	-	実績値		-	2,024	-	リーグ日程の都合で今年度は招待デーを実施しなかったが、市イベントへの参加やチームのPRの協力を積極的に行ったため。			
再掲 39	つくばユナイテッドサンガイアとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	つくば市PRデー(3/1)を開催し、市民招待を枠を設けていただき、116名の市民から申込があった。また、試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。また、今年度より小中学校へ朝の挨拶運動を実施した。	予算額	-	PRデー市民 申込者数 (人)	目標値	100	100	100	団体と連携し、つくば市民の「みる」「知る」スポーツの推進に励んだ。つくば市の日については、定員を超えての申し込みがあった。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	決算額	-	実績値		-	276	116				
再掲 40	茨城口ポッツとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	試合に関するポスターの設置やチラシの配布を市内公共施設へ行った。また、新規事業として、小学生を対象にバスケットボール教室を企画し実施した。	予算額	-	PRデー市民 申込者数 (人)	目標値	200	200	200	試合のPRを行うことで「みる」「知る」スポーツの推進に加え、教室を実施することで、「知る」「する」スポーツの推進にも協力いただけた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。	【教室への参加者数】 小1～3年:41名 小4～6年:33名 中1～3年:20名	決算額	-		実績値	-	194	-			
再掲 41	つくばFCとの連携	【事業目的】 プロスポーツチームと連携することで、しる・みるスポーツの推進を図る。	女子チームのなでしこリーグ参入のため、新たに協定や覚書を締結し、リーグ参入への支援を行った。	予算額	-	PRデー市民 申込者数 (人)	目標値	200	200	200	新たに協定を締結し、さらなる連携の強化に努めた。	連携を強化し、市民がプロスポーツに触れる機会を提供していく。	B
	スポーツ振興課	【事業概要】 市民招待デーを設けていただき、市民がプロスポーツを観戦する機会を提供するほか、試合のPRの協力も行う。		決算額	-		実績値	-	497	-			
再掲 44	つくばマラソン開催事業	【事業目的】 集客力のある大規模なイベントを開催することで、スポーツの楽しみや健康の増進や参加者の交流の場を提供し、スポーツでつながるまちづくりに寄与するとともに、市のPRにつなげるため。	令和7年11月23日(日)に予定通り開催した。 主会場:つくば市役所 参加者:フルマラソン 9,026人、 ファンラン 305人	予算額	15,000	当日参加者 数(人)	目標値	10,200	8,500	10,200	全国的に多くのマラソン大会が定員割れとなる中、フルマラソンの部がエントリー開始から約23分で定員に達しており、つくばマラソンの運営が多くのランナーに選ばれ愛されている証と考える。	東新井地区の交通渋滞や給水所の提供遅れ等コース変更を行ったことで新たに発生した問題を解決する必要がある	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。	決算額	15,000	実績値		9,916	10,551	9,026				

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円	成果指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
					指標名	R5	R6	R7	R8			
70	サイクルパークつくばの活用	【事業目的】 市内の自転車利用の中核となる場を提供することにより、自転車の利用促進及び地域の振興に寄与するため。	・6/14～6/15に開催された「2025JBMXF大東建託シリーズ第3戦つくば大会」を誘致した。 ・10/11～10/12に開催された全日本チャンピオンを決める「第42回全日本自転車競技選手権BMXレーシング」を誘致した。 ・11/3に自転車イベント「Pedal Day Go」を開催した。 ・「弱虫ペダルつくばBMXレーシングシリーズsupported by沼尻産業」を計5戦、「沼尻産業つくばBMXレーシングシリーズ2026」の第1戦が開催された。 ・つくば市におけるBMXの振興及びBMXを活用した地域の活性化等に寄与することを目的とし、10/9に公益財団法人日本自転車競技連盟(JCF)とBMXを通じた取組に関する連携協定を締結した。	予算額 23,856	目標値	6,000	6,250	6,500	・BMXコースを中心に多くの来訪があった。 ・自転車イベント「Pedal Day Go」は約3,500人の参加があり、自転車競技のみならず、自転車を楽しむ機会を醸成した。	・BMXコース利用のみではなく、ロードバイクやクロスバイクなどでサイクリングを楽しむ層により利用してもらえよう、施設の認知度を上げる。 ・周辺の小学校や高校などと連携し、BMX体験会やワークショップなどのイベントを実施することにより、BMXを通じた子供たちの学びや成長の機会を創出する。	S	
	サイクルコミュニティ推進室	【事業概要】 ナショナルサイクルルートに指定されているつくば霞ヶ浦りんりんロードやヒルクライムを楽しむサイクリストで賑わう筑波山不動峠からほど近いBMXレーシングコースを備えた自転車拠点サイクルパークつくばを管理・運営する。	決算額 23,856	施設利用者数(人)	実績値 3,040	9,629	8,850					
80	自転車のまちづくりの推進	【事業目的】 自転車の安全で適正な利用を促進するため。	・サイクルポートを2か所拡充し合計51か所とした。	予算額 16,232	目標値	100	125	145	・シェアサイクルの年間利用者数は60,492回となり、約1.5倍に増加した。	・令和8年度以降も利用者のニーズに合わせてポートや自転車を追加するなど、事業を拡充していく。	S	
	サイクルコミュニティ推進室	【事業概要】 つくば市自転車活用推進計画に基づき、自転車の安全で適正な利用を促しつつ、市内の自転車利用の向上を図る。		決算額 18,576	1日当たりのシェアサイクル利用者数(平均)(件/日)	実績値 66	106	165				
81	つくばりんりんロード利活用推進協議会 広域レンタサイクル事業	【事業目的】 水郷筑波地域におけるつくば霞ヶ浦りんりんロードを核としたサイクリングエリアの認知度向上及び安全な環境整備等に取り組むことにより、交流人口の拡大、地域の活性化を図るため。	・11/30に、サイクリングイベント「いばらきK1ライド2025」を開催し、約1,500人が参加した。	予算額 1,080	目標値	191	198	205	・つくば駅前観光案内所が223件、筑波山ゲートパークが112件の利用があった。 ・協議会と連携してつくば霞ヶ浦りんりんロードの魅力を楽しめるいばらきK1ライド2025等のイベントを開催し、多くのサイクリストが参加した。	・つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会と連携して、魅力的なサイクリングルートを構築し、レンタサイクルの利用促進を図る。	S	
	サイクルコミュニティ推進室	【事業概要】 つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会と連携して、つくば霞ヶ浦りんりんロードを有効活用するために広域レンタサイクル事業を実施する。		決算額 1,023	広域レンタサイクルのつくば市からの利用者数(人)	実績値 176	282	335				

評価結果	評価結果の分析等
S	<p>■ 施策9(4)は順調に進んでおり、評価は「S」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の事業で実施に至らなかった点があったものの、全体的には目標値を達成している。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業44 → コースの大幅リニューアルによって市民生活に一定の影響が生じたことが考えられるが、これからもつくば市のレガシーとして多くの市民に愛され続けられるよう、開催による影響を可能な限り低減できるよう計画的な準備に努めていただきたい。【再掲】 事業80 → 日常的な身体活動もスポーツであると広く定義した場合、移動手段としての自転車利用が促進されることは、本市のスポーツ振興に十分に資するものである。ラストワンマイルの解消という目的と併せて、スポーツを通じた市民の健康増進という副次的効果も備えていることにも留意しながら、今後も継続して実績値の上昇がみられるよう拡充いただきたい。

施策9 スポーツ環境の整備【推進計画P54】

(5) スポーツツーリズムの推進

③	つくばマラソンや、つくば霞ヶ浦りんりんロード、筑波山を活用したサイクリングイベント等との連携や、筑波山周辺地域や自然環境の活用を進めるなど、地域のスポーツ資源をいかしたスポーツツーリズムを推進します。	成果指標		
		指標9	R7(最新値)	R15(目標値)
④	フォレストアドベンチャー・つくば等を活用し、観光の活性化に寄与するスポーツツーリズムを促進します。	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	14.0%	55%以上

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8				
再掲 44	つくばマラソン開催事業	【事業目的】 集客力のある大規模なイベントを開催することで、スポーツの楽しみや健康の増進や参加者の交流の場を提供し、スポーツでつながるまちづくりに寄与するとともに、市のPRにつなげるため。	令和7年11月23日(日)に予定通り開催した。 主会場:つくば市役所 参加者:フルマラソン 9,026人、 ファンラン 305人	予算額	15,000	当日参加者数(人)	目標値	/	10,200	8,500	10,200	全国的に多くのマラソン大会が定員割れとなる中、フルマラソンの部がエントリー開始から約23分で定員に達しており、つくばマラソンの運営が多くのランナーに選ばれ愛されている証と考える。	東新井地区の交通渋滞や給水所の提供遅れ等コース変更を行ったことで新たに発生した問題を解決する必要がある	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。	決算額	15,000	実績値		9,916	10,551	9,026					
再掲 45	フットパスコースの設定、PRの取組	【事業目的】 筑波山麓や田園地帯、古い街並み等の昔ながらの風景を楽しみながら周遊観光を促進する。	筑波山麓地域等のフットパスの他に市内全域を対象とした新たな周遊観光モデルコースを6コース策定し、公開・PRを実施した。	予算額	550	パンフレットの配布数(枚)	目標値	/	32,000	31,500	32,000	これまでと同様にパンフレットの配布等により周遊コースをPRすることで筑波山のみならず、市内各地域の観光誘客に寄与した。	【課題】 フットパスコースの一部改訂の検討や道標の維持管理のため、修繕が必要。 【取組】 適宜パンフレットの修正及び市内周遊観光モデルコースの新コース造成とPRを行う。	S
	観光推進課	【事業概要】 筑波山麓地域や各地域をめぐるコースの設定及びマップ作成を行い市内の魅力PRする。	決算額	550	実績値		32,000	31,000	35,000					
82	スポーツ合宿の誘致	【事業目的】 スポーツツーリズムによる市内誘客を推進し地域経済活性化を図る。	茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合と連携し、市内宿泊施設を利用するスポーツ団体等が市内の体育館やグラウンド等のスポーツ施設を利用する場合に通常の予約期間前の予約を可能することで、市内宿泊施設利用を誘致し地域経済の活性化を促した。	予算額	0	施設利用者数(人)	目標値	/	900	1,000	1,100	過去実績で最大約8割を占めていた宿泊事業者の経営方針が令和5年度途中から変更となりスポーツ合宿受入れを行わなくなったため、目標値を下方修正したが、他の宿泊先からの予約は増加した。	【課題】 スポーツ合宿について、施設利用者への周知が必要。市HP等で制度の周知を検討。 【取組】 茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合つくば支部等と引き続き連携し制度を周知し利用を促していく。	S
	観光推進課	【事業概要】 市内スポーツ施設や廃校を活用し、スポーツ合宿を誘致する。	決算額	0	実績値		2,484	1,344	1,261					
83	森林体験パークの整備及び通年型観光拠点の構築	【事業目的】 市有地の保全を図りながら新たな観光資源の活性化を図る。	パーク内でカシナガ被害による枯れ木が確認されたことや、施設の更なる魅力向上を図るため、コースの大規模な改修を実施した。	予算額	42,496	施設利用者数(人)	目標値	/	15,000	14,000	14,000	施設の長寿命化を図るため、施設の改修を適宜実施した結果、利用者への満足度向上が図れた。	【課題】 夏場の高温の影響やコース改修に伴う閉鎖期間があったものの、利用者減少は顕著である。 【取組】 コース改修が完了したため、事業者と連携しながら引き続き周知活動を行い、認知度向上に努める。	B
	観光推進課	【事業概要】 筑波山梅林周辺の市有地に森林体験パークを整備し、新たな年代層をターゲットとした通年型観光拠点を構築し、スポーツツーリズムの促進を図る。	決算額	40,496	実績値		12,585	11,847	9,456					

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		活動指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
	担当部署			指標名	R5	R6	R7	R8	評価理由				
84	筑波山麓の整備・筑波山周辺観光の活性化	【事業目的】 筑波山及び周辺の観光資源を最大限に生かし、年間を通じて誘客を行い、周辺観光産業の活性化を図る。	筑波ふれあいの里キャンプ場においてキャンプサイトの設計業務を実施した。また、筑波山山頂周辺においては、筑波山観光用水道の老朽化した管の布設替工事を実施した。	予算額	140,456	-	目標値	-	-	-	令和7年度は各観光施設の改修・整備工事を実施し、観光地における公共空間の充実を図ることができた。	【課題】 各施設とも老朽化した施設があり今後も修繕の必要性がある。 【取組】 利用者の満足度向上のため、設備の修繕や施設の改修工事等が予定されている。	A
	観光推進課	【事業概要】 筑波山周辺の登山道、ハイキングコース、フォレストアドベンチャー・つくば、フットパス、ウォーキングコース、道案内表示、関連マップを整備し、筑波山周辺地域と観光の活性化を図る。		決算額	99,891		実績値	-	-	-			

評価結果	評価結果の分析等
A↑	<p>■ 施策9(5)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各資源が連携し十分な相乗効果を発揮するまでには至っていないものの、個別の事業は概ね順調に進んでいる。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業44 → コースの大幅リニューアルによって市民生活に一定の影響が生じたことが考えられるが、これからもつくば市のレガシーとして多くの市民に愛され続けられるよう、開催による影響を可能な限り低減できるよう計画的な準備に努めていただきたい。【再掲】 事業83 → 自然環境下のスポーツ活動は、メンタルヘルスの増進や環境保全に対する意識向上も期待できる一方で、気象条件の影響を強く受ける。スポーツツーリズムにおける貴重な資源の1つとして、コースのリニューアルが追い風となるよう効果的に周知いただきたい。

施策10 スポーツ活動における安全の確保【推進計画P54】

(6) スポーツ活動における安全教育の推進

①	市民が安全にスポーツ活動を行えるよう、スポーツ推進委員の研修会や、指導者の講習会等において、安全管理に関する教育研究を徹底して実施します。	成果指標		R7(最新値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度	14.0%	55%以上
②	学校において、子どもたちが安全にスポーツ活動を行えるよう、教員のための指導者研修会を実施します。				

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価 評価理由
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			
再掲 7	学校の教員のための体育・スポーツに関する研修会等の実施	【事業目的】 体育・スポーツの指導充実を図るため。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内全校の教職員が参加した。	0	0	体育実技講習会(参加人数)	目標値	45	50	51	研修会が学校においてすぐに実践できる内容であったため、研修会後に体育の授業に取り入れ、質の向上を図ることができた。また、多くの学校では、研修参加者が研修の内容を校内において共有することで、教職員全体への質の向上を図ることができた。	今年度も昨年度と同様の研修が実施される予定である。体育の授業改善をとおして、児童生徒の体力や技能の向上を図る。	S
	学び推進課	【事業概要】 学校の教員のために体育・スポーツに関する指導者研修会を実施する。		0	0		実績値	48	50	50			
再掲 15	中学校武道等指導推進	【事業目的】 中学校における武道等の指導を充実させるため。	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会が実施され市内1校の教職員が武道等参加した。	0	0	武道等講習会参加人数(人)	目標値	8	8	8	茨城県保健体育課主催の体育実技指導者研修会に参加したことをもとに部活指導に生かした。	今年度の研修が実施される際には、中学校での武道の授業改善や部活動道での安全指導を充実させるために、その意義を伝えながら活用を促していく。	C
	学び推進課	【事業概要】 中学校の武道等の指導を推進し、安全指導を徹底するために、外部指導者の派遣支援を行う。		0	0		実績値	1	1	1			
85	自転車のまちづくりの推進	【事業目的】 交通事故の防止や交通安全意識の啓発を行うことにより、交通安全の向上を図るため	各年齢層に即した交通安全教室を開催した。	0	0	交通安全教室開催数(回)	目標値	400	400	400	各年齢層の市民(参加者合計22,172人)に、交通安全意識の向上を図ることができた。	引き続き、地域の実情や要望に応じた交通安全教室を実施していく。	S
	防犯交通安全課	【事業概要】 安全・安心・環境・健康等に視点をおき、自転車を利用する子どもから高齢者までの全ての市民を対象に「ひと・自転車・クルマが共生できるまちつくば(安全で快適なりんりんつくば)」を推進する。また、子どもたちには、交通ルールや自転車のマナーを学ぶ機会を提供し、安全に楽しく利用できるよう推進する。		0	0		実績値	401	431	419			
86	スポーツ指導者の資格認定や講習会における安全教育の徹底	【事業目的】 スポーツ指導者による安全教育の徹底により、スポーツ事故を防止するため	スポーツ推進委員を対象に「障害者のスポーツ活動」をテーマとした研修会を6月に開催し、安全管理面における配慮が特に重要な障害者について学習することで資質の向上を図った。	26	13	スポーツ推進委員研修会の参加人数(人)	目標値	28	29	30	本研修会をきっかけに、28名の出席者のうち半数の14名から、障害者を対象としたスポーツ体験講座への協力の申し出があった。	学習した内容を発揮する場が十分であるとはいえないため、場の創出に向けた方策を検討していく。	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 運動やスポーツの指導者や推進員の資格認定や講習会において、安全管理に関する教育研修を徹底する。		13	13		実績値	27	20	29			

評価結果		評価結果の分析等
A	<p>■ 施策10(6)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値が適正であるか検討の余地があるものの、現状では目標値に達している事業が大半となっている。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業85 → 自転車走行の目的については、「移動手段として」あるいは「スポーツ活動として」の両側面が存在し、いずれも交通ルールを順守した上で安全を確保することが必要となる。近年、累次にわたってルール改正がなされており、市民へ浸透させることは容易ではないと考えられるが、市民の安全・安心を確保するため粘り強く取り組んでいただきたい。 	

施策10 スポーツ活動における安全の確保【推進計画P54】

(7) スポーツ事故・障害の予防等に係る啓発

③	市内の大学や研究機関等によるスポーツ医・科学に関する知見を活用し、市民や指導者等に対するスポーツ事故やスポーツ障害の予防等に関する啓発等を支援します。	成果指標			R7(最新値)	R15(目標値)
		指標9	18歳以上の市民の公共スポーツ施設の満足度		14.0%	55%以上

事業番号	事業名 担当部署	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価	
				予算額	決算額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由	
再掲 55	筑波大学との協力	【事業目的】 筑波大学との連携を深め、大学スポーツの魅力を知ることにより市民のスポーツ活動への啓発をするため。	筑波大学が市民の週末のお出かけ先となることを目指し、筑波大学が学内に建設中の「Sport Complex for Tomorrow(仮称)」や学生アスリートといった資源の活用方策について、複数回の意見交換を踏まえながら検討を進めた。	予算額	0	-	目標値	/	-	-	-	複数回の意見交換によって筑波大学との協力関係が深まり、双方が実施している各施策において相乗効果が生まれている。	筑波大学が市民の週末のお出かけ先に選ばれるよう、大学が有するスポーツ資源を市民に還元するための方策について、引き続き足並みを揃えながら検討を進めていく。	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 筑波大学関連団体の主催のスポーツイベントに広報活動や会場確保などの支援を行う。また、市の事業を筑波大学関係者からの協力を得ながら連携して行う。	決算額	0	実績値		-	-	-	-	協力関係の深化の余地を踏まえて、現状は「概ね順調に進んでいる」と判断し評価Aとした。			
87	マラソン医療救護体制の連携強化	【事業目的】 安全につくばマラソンを開催するため。	つくばマラソンの主会場及びコース上に計8か所の救護所を設けたほか、40人のモバイルAED隊や6人のドクターランナーなど、救護症例発生時に迅速に対応できる体制を整えた。	予算額	28,000(実行委員会への負担金)	医療救護件数(件)	目標値	/	-	-	-	令和7年にコースをリニューアルするに当たり、鎌田医師と月1回医療に関する打合せを実施し医療救護体制を構築した。	コース上と会場の医師間のコミュニケーションツールについて、よりやり取りがしやすいツールを検討する必要がある	S
	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。	決算額	28,000	実績値		257	340	243	コースリニューアルに伴い、安全管理上のリスクが変化する中、関係者間で役割分担と対応方針の共通理解を形成できたことで、救護症例発生時の初動・連携が円滑化し、大会参加者の安全確保に大きく寄与したため。				
88	つくばマラソン練習会	【事業目的】 初心者ランナーに対してマラソン完走に向けた練習方法のサポートと、既に経験のあるランナーに対しても更なるステップアップを目指した情報を提供するため。	筑波大学の鍋倉教授を講師として、全4回実施した。フルマラソンの練習方法を段階を追って指導したほか、練習やレース上でのマナー等の講習を行った。	予算額	28,000(実行委員会への負担金)	参加者数(件)	目標値	/	100	100	100	ほとんどの参加者がつくばマラソンにエントリーしており、大会に向けた有意義な練習会となった。	一度参加した方に好評で毎年参加してくれるリピーターも多いが、新規の参加者を増やす必要がある	A
	スポーツ振興課	【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。	決算額	28,000	実績値		65	79	91					

事業番号	事業名	事業目的及び概要	R7活動実績	R7事業費(歳出) 単位:千円		指標					R7成果・効果	課題・ 今後の取組	担当評価
	担当部署			予 算 額	決 算 額	指標名	R5	R6	R7	R8			評価理由
89	つくばマラソン「マラソンを科学する」	【事業目的】 「つくば」が有する「科学」のイメージをより強固にし、「つくばマラソン」の価値向上を図るため。 【事業概要】 地域のスポーツ団体や民間事業者等と連携して、つくばマラソンを開催する。	2件の応募があり、2件とも採択した。 ①マラソンの至適ペースを科学する(マラソンにおける最適なペース戦略について) ②マラソン出場選手のコンディションを科学する(マラソンにおけるコンディション調整について)	28,000(実行委員会への負担金)	28,000	目標値	5	5	5	本事業は、つくばマラソンの大会テーマとなっており、「科学のまちつくば」ならではの取り組みとして定着している。	継続実施しているテーマについて、結果を発表し大会プログラム等でランナーに知見を還元する必要がある。	A	
	スポーツ振興課			支援した取組件数(件)	実績値	1	2	2	本事業の支援件数は目標値を下回ったものの、①②とも活動内容がつくばマラソンにとって非常に有意義かつ効果的なものであったため、評価を引き上げた。				

評価結果	評価結果の分析等
A↑	<p>■ 施策10(7)は概ね順調に進んでおり、評価は「A」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学等におけるスポーツ医・科学に関する知見の活用状況は限定的であるが、各事業の評価は軒並み高い。 <p>(各事業への個別の指摘等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業55 → 筑波大学が建設を進めている「Sport Complex for Tomorrow(仮称)」については、競技者の育成や研究の発展のみならず、地域コミュニティを高める拠点となり得ることから、大学と地域がスポーツを通じて強固につながるよう、必要に応じて大学と連携いただきたい。【再掲】 事業87 → コースをリニューアルした昨年度の救護件数が比較的少なかったことについては、選手の生命・健康を守る観点において期待の持てる結果となった。しかしながら、救護件数の増減については開催時の気象条件に大きく左右されると考えられることから、雨天時や強風下、高温多湿といったあらゆる環境を想定しながら、医療関係者等との調整を密にし万全を期していただきたい。

つくば市スポーツ振興審議会条例(平成3年つくば市条例第28号)の全部を改正する。

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第31条の規定に基づき、つくば市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、スポーツの推進に関する事項について市長の諮問に応じ調査審議し、及び当該事項に関し市長に建議する。

(組織)

第3条 審議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) スポーツ団体の代表者
- (4) 市議会議員
- (5) 市内に在住し、在勤し、又は在学する者
(令3条例29・一部改正)

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 審議会に会長を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめその指定する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係職員の意見の聴取)

第7条 審議会は、必要があるときは、議事に関係する市の職員の出席を求め、意見を述べさせ、又は必要な書類の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、市民部において処理する。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に旧スポーツ振興法(昭和36年法律第141号)第18条第4項の規定により任命されたつくば市スポーツ振興審議会(以下この項において「旧審議会」という。)の委員であった者は、この条例の施行の日、第3条第2項の規定により、審議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる者の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、同日における旧審議会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

3 この条例の施行の際現に改正前のつくば市スポーツ振興審議会条例(次項において「改正前の条例」という。)第4条第1項に規定する会長の職にあった者は、この条例の施行の日、第5条第1項の規定により会長として選任されたとみなす。

4 この条例の施行の際現に改正前の条例第4条第3項に規定する会長があらかじめ指定した委員であった者は、この条例の施行の日、第5条第3項に規定する会長があらかじめ指定する委員として指定されたものとみなす。
(つくば市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

5 つくば市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和62年つくば市条例第15号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

附 則(令和3年条例第29号)

この条例は、公布の日から施行する。

つくば市スポーツ推進審議会委員名簿

任期:令和8年2月4日から令和10年2月3日まで

No	選出区分	氏名	所属	備考
1	学識経験者	高木 英樹 (タカキ ヒデキ)	筑波大学体育スポーツ局 局長 体育系教授 博士(工学)	
2		中島 幸則 (ナカジマ ユキノリ)	筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 障害者基礎教育研究部 教授 博士(医学)	
3		青戸 克哉 (アオト カツヤ)	霞ヶ浦医療センター 整形外科部長	
4	スポーツ団体の代表者	萩原 武久 (ハキワラ タケヒサ)	(一社)つくば市スポーツ協会 会長	
5		渡邊 聡 (ワタナベ サトシ)	つくば市中学校体育連盟 会長 (つくば市立並木中学校校長)	R8.6.1~
6		橘 香織 (タチバナ カオリ)	(一社)シッティングスポーツ協会 副理事 (茨城県立医療大学准教授)	
7		朝日 省一 (アサヒ ショウイチ)	(一社)茨城パラスポーツ協会 事務局長	
8	市民委員	佐藤 正子 (サトウ マサコ)		
9		中根 瞳 (ナカネ ヒトミ)		
10		本多 静子 (ホンタ シズコ)		
11	市議会議員	あさの えくこ (アサノ エクコ)	つくば市議会議員 (市民経済常任委員会委員長)	
12	行政職員	伊藤 智治 (イトウ トシハル)	つくば市 市民部長	R8.6.1~

第2次つくば市スポーツ推進計画の進行管理等に係る質問一覧

No.	ページ	事業番号	事業名	御質問・御意見	提出者	担当部署
1	P. 2	1	全国大会・関東大会出場補助事業	部活動の地域展開については教育局で積極的に進められているが、視点として生涯スポーツの観点が必要であり、今後どうしていくかの協議の上でも学校関係者以外も交えた別の場が必要と考えるが、現在の協議の場はどこか。	あさの委員	教育総務課 (学び推進課)
2	P. 2	3	体力テストの実施	体力テストの実施人数が在籍者数より少ないのは主として不登校状態にある子どもが測定できていないことがあると思われる。この実施数を指標に入れる理由は？ 指標としては事業9の結果を受けてどのように対応しているかが大切だと考える。 また、障害を持つ児童生徒にとって体力テストは大変重要だが、どのような指標を用いて評価しているか教えてほしい	あさの委員	健康教育課
3	P. 2	4	体育授業への外部指導員等の派遣	内容としては学校に体育授業アドバイザーを派遣する同一の事業ではないかと思われるが、なぜ「再掲」ではなく2つになっており、また数値が違うのか。東小学校と大曾根小学校の内容が違うのであれば別事業ではないか。	あさの委員	学び推進課
	P. 3	8	学校体育コーディネート事業			
4	P. 4	10	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	学校活動への支援は大切だが、支援できる基準を明確化することで評価が可能となるのではないか。	あさの委員	学務課
5	P. 4	11	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	すでに前年度で目標以上の31名を達成しているのに本年度の目標が前年度目標と同じになっている理由	あさの委員	学び推進課
6	P. 4	12	放課後子ども教室の推進	活動指標が(回)となっているがそれでよいか。仮に昨年642回のスポーツ系事業が行われたとすれば35週として平均18.3回/週となる。確認をお願いしたい。	あさの委員	こども育成課
7	P. 6	19	65歳以上の出前健康教室	シルバーリハビリ体操の実績は実参加人数か？(決算時の実績報告書には述べ人数で掲載されている。指標としては両方あるとよいと考える。	あさの委員	健康増進課
8	P. 8	22	障害者スポーツのイベントの実施	障害者スポーツイベントの参加者が目標を上回っているが、今年度の目標が変わらない理由。	あさの委員	スポーツ振興課

令和8年度第1回つくば市スポーツ推進審議会における質問・意見への回答

No.	質問・意見				回答			
	ページ	事業番号	事業名	質問・意見の内容(要旨)	発言委員	担当部署	回答の内容(右欄「同席」は要旨)	同席/書面
1	P.2	3	体力テストの実施	体力テストの実施人数が在籍者数より少ないのは主として不登校状態にある子どもが測定できていないことがあると思われる。この実施数を指標に入れる理由は、指標としては事業9の結果を受けてどのように対応しているかが大切だと考える。また、障害を持つ児童生徒にとって体力テストは大変重要だが、どのような指標を用いて評価しているか教えてほしい。	あさの委員	健康教育課	本事業は、事業9などの各学校での体力向上の取り組みのための基礎資料として、データの収集及び分析を行うものであるため、データ数と同義の実施者数を指標としている。また、体力テストにおいて、障害者用の評価指標等はなく、他の児童生徒と同様の評価指標となっている。	書面
2	P.2	4	体育授業への外部指導員等の派遣	内容としては学校に体育授業アドバイザーを派遣する同一の事業ではないかと思われるが、なぜ「再掲」ではなく2つになっており、また数値が違うのか。東小学校と大曾根小学校の内容が違うのであれば別事業ではないか。	あさの委員	学び推進課	事業番号4と8が同一の事業であるのではないかと、という質問であれば、事業番号の4と8は異なる事業として、派遣される講師の種類や目的が異なるため、別事業として掲載している。また、本事業は申請時にどのような種目で派遣を希望するかを選択できる事業となっている。授業で扱う内容は異なるが、事業としては同じであるためまとめて記載している。	書面
	P.3	8	学校体育コーディネーター事業					
3	P.4	10	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	学校活動への支援は大切だが、支援できる基準を明確化することで評価が可能となるのではないかと。	あさの委員	学務課	学校の規模に応じて予算を配当しており、各学校で必要とする消耗品や大会バスの仕様・数量が年度ごとに異なるため、評価基準を設定することは難しいと考えている。	書面
4	P.4	11	中学校運動部活動の支援、環境の整備及び活動状況の調査	すでに前年度で目標以上の31名を達成しているのに本年度の目標が前年度目標と同じになっている理由は。	あさの委員	学び推進課	目標値については、計画時から変更をしていない。部活動地域展開を進めていくうえで、部活動指導員に頼ることなく、地域クラブでの活動を推進していく必要があるため、年度毎の状況に合わせた目標の見直しについて、検討していく。	書面
5	P.4	12	放課後子ども教室の推進	活動指標が(回)となっているがそれでよいか。仮に昨年642回のスポーツ系事業が行われたとすれば35週として平均18.3回/週となる。確認をお願いしたい。	あさの委員	こども育成課	当該回数は令和7年度における放課後子ども教室の全実施回数となる。そのうちスポーツ系のイベント実施回数については42回である。放課後子供教室の活動場所や活動内容については、幅広い分野のプログラムの中から、学校の希望によりスポーツに関する活動を実施している。	書面
6	P.6	19	65歳以上の出前健康教室	シルバーリハビリ体操の実績は実参加人数か。決算時の実績報告書には述べ人数で掲載されている。指標としては両方あるとよいと考える。	あさの委員	健康増進課	R7実績値は参加実人数である。シルバーリハビリ体操の参加延べ人数については、議事資料の「R7成果・効果」欄に記載したとおり15,010人である。指標の設定については、次回の計画策定の際により適切な指標値の設定を行うための参考とさせていただく。	書面
7	P.7	-	施策2(4)全般	評価結果が昨年よりも下がっており「高齢者の地域スポーツに係る実績値が低下傾向」とあるが、この点について分析が進んでいたらお答えいただきたい。	高木会長	スポーツ振興課	一般論として、実績値が低下している現状から回復させようという視点を持ち、担当部署において事業改善に向けた検討が進められるものと思われるが、高齢者を取り巻く社会構造の変容といった大局的な視点でとなると、事務局としてそのような分析は実施していない。	同席
8	P.8	22	障害者スポーツのイベントの実施	障害者スポーツイベントの参加者が目標を上回っているが、今年度の目標が変わらない理由は。	あさの委員	スポーツ振興課	各事業をより良いものにしていく点において、目標値の上方修正は望ましいものである一方、イレギュラーとして実績値が上振れる場合も考えられることから、複数年度の推移を見ながら個別に検討していくものと考えている。次回の実績報告では、令和6年度から令和8年度までの3か年の実績値の推移を踏まえ、目標値の上方修正を検討するとともに、各担当部署に対しても上方修正について検討するよう依頼したい。	同席
9	P.18	44	つくばマラソン開催事業	家族が2年連続で出走しており、給水所が渋滞してタイムロスになったり、給食がないといった事例もあるように聞いている。持ちタイムが遅い人でも、プラスアルファで楽しみがあるように工夫していただきたい。	佐藤委員	スポーツ振興課	給水所の混雑緩和については、給水テーブルの配置・延長、案内表示の工夫、スタッフ配置の見直し等により、渋滞によるタイムロスがなるべく発生しないようにする。給食の提供については、昨年度の実績や給水所を管理しているスタッフの報告等を基に、発注数量の見直しを行うこととする。	書面

No.	質問・意見				回答			
	ページ	事業番号	事業名	質問・意見の内容(要旨)	発言委員	担当部署	回答の内容(右欄「同席」は要旨)	同席/書面
10	P. 24 P. 25	-	施策7(3)全般	事業として筑波技術大学との連携は出ていないが、筑波技術大学でもスポーツ教室の開催実績はあり、やれることはあると思うので検討いただきたい。	中島委員	スポーツ振興課	筑波技術大学にも学生アスリートがいることは認識しており、昨年度もデフリンピックに関連した表敬訪問を受けるなど一定の連携はある。現在、小中学校等に学生アスリートを派遣する事業を検討しており、筑波技術大学にも参画いただければと考えているので、前向きにご検討いただきたい。	同席
11	P. 30	68	流星台スケートボードパークの活用	友人とスケートボードパークに行った際、利用した友人は楽しめたようだが、利用しない私は待機スペースがなく、冬の時期であったため非常に寒かった。スケートボードをする人以外の待機場所も整備していただきたい。 また、専用のお手洗いもなく、私自身も近くの保健センターのお手洗いを利用させてもらったので、待機する環境が整っているとよいのではないかと。	中根委員	公園・施設課	スケートボードパークの待機場所については、現在、簡易ベンチで対応している。また、屋外トイレの設置についても検討を進めている状況である。今後は、他の公園における有料施設の状況や利用状況を正確に把握し、検討を進めていく。	書面
12	P. 30	69	みどりのプールの活用と管理	みどりのプールを使用し、施設自体は車いすユーザーとしても使いやすいもの、トイレについて気付いたことがある。全国的に「みんなのトイレ」という表記が増えており、他の施設でも似たような名称がついていることがあるが、健常者が使っていて障害者が使えないといった事例も起きている。行政としてどうしていくべきかを検討していただきたい。	朝日委員	スポーツ施設課	みどりのプールの多機能トイレについては、車いすの方だけでなく、一般のトイレを使用することが難しい高齢者の方や、乳児のおむつ替え、LGBTQの方等にも使用していただく想定で、「だれでもトイレ」という表記としている。 今後、新たな施設においては、表記により機能を必要としない方の利用を誘導し、真に必要な方の利用が妨げられないことがないよう国土交通省の方針等を参考にしながら、利用者の方にもわかりやすい表記を検討していく。 また、みどりのプールでは、車いす使用者の方だけでなく精神障害者、要介護高齢者、妊産婦等、けが人等と対象の方を広げた思いやり駐車場を整備したが、車いす使用者が駐車できないといったことが生じた。そのため、思いやり駐車場の一部の表示を車いす使用者用駐車場としての表示に改めた経緯もある。現状、「だれでもトイレ」については、車いす使用者の方が利用できないということはなかったが、案内掲示等により注意喚起を行うこととする。	書面
13	-	-	-	部活動の地域展開については教育局で積極的に進められているが、視点として生涯スポーツの観点が必要であり、今後どうしていくかの協議の上でも学校関係者以外も交えた別の場が必要と考えるが、現在の協議の場はどこか。	あさの委員	学び推進課	部活動地域展開を含む、地域における子どもたちのスポーツ・芸術文化活動の環境整備に関すること、学校部活動の将来的な在り方、地域クラブ活動の企画及び運営に関すること等について、学識経験者、学校関係者、保護者代表、地域スポーツ又は芸術文化団体を含む構成員による「つくばジュニアスポーツ・芸術文化活動推進会議」において、議論している。	書面
14	-	-	-	各事業に「周知を徹底する」というフレーズがみられるが、参加者数などが伸びない要因としては、申込方法の問題もあるのではと思う。実際に案内を見ると、申込方法が煩雑で簡素化できないものかと感じた。	本多委員	スポーツ振興課	事業内容によって適切な方法があると認識している。スポーツ振興課としては、手続きは可能な限り簡素にすることが重要だという認識の下、手続きの電子化を検討するなどしている。また、参加する障壁をできるだけ低くするため、事前予約を不要としたり、費用の事前徴収を行わないなどの工夫をしている。	同席
15	-	-	-	部活動の地域展開については、学校だけで考えていても解決しないのではないかと考える。教育局が努力していることは認識しているが、大学やパラスポーツと連携するなど、もっと広い視野で考えて進めていく必要があると思うので、多様な協議の場が必要ではないかと。	あさの委員	スポーツ振興課	例えば、本審議会で議論することを想定した場合、スポーツの推進に関する事項であれば可能である。決まった手続きは存在しないが、本審議会の建付けからすれば、審議したい事項を事務局へ提案いただければ、会長へ相談した上で部活動の地域展開に係る議論の場にもすることも制度上は可能である。	同席